

エンパワーするNGO



2021 年度 事業報告書



わいわいデイルーム

公益財団法人 神戸 YWCA

目次

YWCAの使命（ミッション）	1
事業報告	
Ⅰ．平和・人権事業（「平和と人権センター」所管）	2
世界・社会委員会	
環境・くらし委員会	
ユース・エンパワメント委員会	
＜グループ＞	
愛農人倶楽部	
声の奉仕	
讚美歌を歌おうかい	
聖書を読む会	
ジェンダーグループ	
ピース・ブリッジ（Peace Bridge）	
文学講座	
平和活動グループ	
マザースカレッジ企画会	
夜回り準備会	
わいわい科学クラブ	
アフタヌーン・ティー	
現代史勉強会いもづる	
Ⅱ．総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）	14
神戸YWCAまごの手	
神戸YWCA保育園	
神戸YWCAつどい場	
カフェもぐもぐ	
ちやいやあらんど	
弓の木歌の集い	
わいわい食事会	
わいわいダイルーム	
木曜カフェ	
Ⅲ．多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）	25
神戸YWCA学院	
（日本語コース・日本語教師養成コース・外国語コース・地域福祉コース・文化教養コース）	
多文化共生ボランティア部	
Ⅳ．活動共通事業	28
運営委員会	
定期会員集会準備会	
指名委員会	
会員委員会	
キリスト教基盤委員会	
100周年記念事業実行委員会（記念誌プロジェクト）	
Ⅴ．広報・ファンドレイジング	32
機関紙編集委員会	
ファンドレイジング実行委員会	
Ⅵ．法人	35
理事会	
監事	
評議員会	
会勢報告	36
2021年度公益財団法人神戸YWCA組織図 / 評議員・理事・監事・運営委員・職員	37
決算報告書	39
監査報告書	53



アナログゲーム大会（こどもいいんかい）



神戸 YWCA 保育園



選挙に行こう！キャンペーン（平和活動グループ）



やさしい日本語講座（日本成コース）

YWCA の使命（ミッション）

第 33 総会期

日本 YWCA 全国会員総会決議

主題聖句

「平和を実現する人々は幸いである」 - マタイによる福音書 5 章 9 節 -

ビジョン

女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にする社会

ミッション

若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

バリュー

1. キリスト教基盤

すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣って行動します。

2. 平和・環境

アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。

3. 人権

人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりまします。

4. セーフスペース

会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

神戸 YWCA ビジョン

一人ひとりが大切にされる社会

神戸 YWCA 2021 年度活動目標

共に社会を変える一歩を踏み出す

事業報告

I 平和・人権事業（「平和と人権センター」所管）

「人権を擁護し、非暴力による平和な社会の実現を目指す事業」「青少年の人間性を涵養し、生涯学習を推進し、より良い社会の形成に資する人材を養成する事業」を中心に実施していく。

世界・社会委員会

●活動方針・目標

人権、非核、政治、経済、憲法、居住、ジェンダー、メディアリテラシー、地方自治、民主主義、働き方などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

韓国市民社会を知り日本市民社会を考えるプロジェクト

代表 野村春美
メンバー 3人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

目的：軍事政権から民主化を勝ち取り、今もその途上にある韓国市民社会から学び、日本市民社会の民主主義を見直す。

年間目標：韓国映画や書籍、韓国在住の方との交流を通して学ぶ。韓国スタディツアーも計画中。

●活動報告

軍事政権から民主化を勝ち取り、今もその途上にある韓国市民社会から学び、日本市民社会の民主主義を見直すことを目的とし、知っているようで知らない韓国社会というテーマで、3回のオンラインカフェを開催した。第1回「みんなで語ろう！韓国映画『共犯者たち』・韓国市民社会」（7月24日）では、韓国のドキュメンタリー映画『共犯者たち』を各自鑑賞し、感想、疑問を参加者で話し合った（参加者10人）。第2回「ゲストスピーカーと読み解く！韓国映画『共犯者たち』・韓国市民社会」（9月25日）では、ゲストスピーカーに康宗憲（カンジョンホン）さんを迎え、韓国の民主化を進めてきた歴史、社会について解説していただいた（参加者25人）。第3回「通訳者と韓国在住ゲストスピーカーに聞く～少し前の・今の韓国市民社会」（11月20日）では、個人として韓国に深い関わりを持っておられる二人のゲストスピーカーを迎え、一人ひとりの立場から韓国の市民社会について、パネルディスカッション形式で話していただいた（参加者13人）。

3回のオンラインカフェを通じて参加者からは「韓国でこんな民主主義の闘いがあったことを知らなかった」「ゲストのリアルな話を聞いて、実際の韓国事情がよくわかった」などの感想が寄せられた。韓国社会を学び理解し、日本社会について考えるという、このプロジェクトの目的に少しでも近づいたのではないかと思う。

●活動実績

開催日	ミーティング（全てオンライン）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
4月3日	第1回ミーティング	メンバー募集の件、今後の企画とスケジュールについて	5	66 (全15回)	4
4月26日	第2回ミーティング	全体企画とスケジュールの確認	4		
5月4日	第3回ミーティング	全体企画（日程、講師など）の決定、広報の件	5		
5月26日	第4回ミーティング	第1回プログラムの詳細検討、チラシ案検討など	4		
6月17日	第5回ミーティング	第1回プログラムのタイムテーブル、役割分担など、広報の件	4		
7月5日	第6回ミーティング	第1回プログラムの最終確認、チラシ案最終検討など	4		
7月19日	第7回ミーティング／予行練習	第1回プログラム確認と予行練習	4		
8月23日	第8回ミーティング	第1回プログラム振り返り、第2回プログラムのタイムテーブルと役割分担など、第3回の準備	4		
9月5日	第9回ミーティング	第3回プログラム講師との打ち合わせ	6		
9月11日	第10回ミーティング	第3回プログラムチラシ案検討	4		
9月13日	第11回ミーティング／予行練習	第2回プログラム予行練習	4		

10月4日	第12回ミーティング	講師との打ち合わせを基に 第3回プログラムのための内容検討	4		
11月16日	第13回ミーティング	第3回プログラム最終打ち合わせ	6		
1月8日	第14回ミーティング	2021年度活動の振り返りと2022年度活動計画	4		
2月2日	第15回ミーティング	2022年度活動計画の最終確認	4		

開催日	プログラム・イベント名 (全てオンライン)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
7月24日	第1回 みんなで語ろう！ 韓国映画『共犯者たち』・韓国市民社会	韓国映画『共犯者たち』の感想シェア	世界社会メンバー	10
9月25日	第2回 ゲストスピーカーと読み解く！ 韓国映画『共犯者たち』・韓国市民社会	民主化を進めてきた韓国の歴史・ 社会について学ぶ	康宗憲 (韓国問題研究所)	25
11月20日	第3回 通訳者と韓国在住 ゲストスピーカーに聞く ～少し前の・今の韓国市民社会	日本のメディアはリアルな 韓国を伝えているか？ 在住者、通訳者の視点から聞き学ぶ	長尾有起 (ソウル在住牧師) 矢野百合子 (韓国語通訳者)	13
延参加人数 (全3プログラム)				48

環境・くらし委員会

●活動方針・目標

SDGs (持続可能な開発目標)、原発、温室効果ガス、ゴミ問題、プラスチック、農業、哲学カフェ、生と死、ローカルコミュニティ、防災、DIY、おひとりさまなどをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

① QOL 向上プロジェクト

代表 岩切幸子、金本美子
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

目的：人生を生き活きと生きるために「生と死」を見つめ、いのちやくらしについて語り合う。
目標：生と死に関する様々なテーマについて学び、講演、DVD、記事などを通して自分の死生観、生き方を深め、自分の思いに気づくことで、それぞれの死生観を深め、生きることについて考える。

●活動報告

生と死について模索してきたが、自分たちのやってみみたい身近なテーマを3回シリーズで、オンライン茶話会で取り組むこととした。会員を対象に夜の19時半～20時半の1時間を充てた。

第1回は「この世に遺したいもの」について12月3日に実施(参加者9人)。第2回は「たましいのケア～病む人のかたわらに」(共著：藤井理恵、藤井美和)の読書感想会を1月7日に開催(参加者7人)。第3回は「最期のおやつ」(小説『ライオンのおやつ』参考)について1月28日に開催した(参加者6人)。

「生と死」というテーマをいかに取り上げるか、テーマの焦点を絞ることが難しく、他団体の取り組み事例を調べて企画に取り入れようとするも、なかなか内容がまとまらず苦戦。しかし、生き生きと生きるために、死について考え、自分と向き合うというのは、センシティブな議論になりやすい部分はあるものの大切なテーマだと検討を続けた。最終的には、コロナ禍ということもあり、夜にオンラインで茶話会を試み、ゆっくりとじっくりと話し合う形をとった。「生と死」というテーマだったからこそ、日頃は気づかない他者や自分の思いを振り返る時となった。

●活動実績

開催日	ミーティング (場所)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
5月21日	第1回ミーティング (オンライン)	企画内容について協議	3	22 (全7回)	3
7月5日	第2回ミーティング (オンライン)	企画内容について協議	3		
7月30日	第3回ミーティング (オンライン)	各人の宿題報告、 各人の企画内容案について協議	3		
10月23日	第4回ミーティング (オンライン)	企画内容、スケジュールの決定	4		

11月13日	第5回ミーティング (神戸YWCA本館)	3つの企画内容と進め方、 スケジュール確認、広報について	3		
12月11日	第6回ミーティング (神戸YWCA本館)	2021年度企画のふりかえりと 2022年度企画について検討	3		
1月15日	第7回ミーティング (神戸YWCA分室)	2022年度活動計画について	3		

開催日	プログラム・イベント名 (全てオンライン)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
12月3日	第1回オンライン茶話会	この世に遺したものは？	QOL向上プロジェクトメンバー	9
1月7日	第2回オンライン茶話会	「たましいのケア」を読んでみよう	QOL向上プロジェクトメンバー	7
1月28日	第3回オンライン茶話会	最期に食べたいものは？	QOL向上プロジェクトメンバー	6
延参加人数 (全3プログラム)				22

ころうふく 神福のはしごプロジェクト

代表 福田百
メンバー 3人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

セカンドハウス・プログラムは、日本YWCA地域連携委員会の「com7300」の活動方針に沿って今年度も実施する。また利用者家族との交流も実施し、福島で生活する方々から学び続ける。発災時の「支援」から「共に生きる」仲間として、名称を「神福のはしご(神戸と福島をつなぐはしご)」と改名し、繋がり励ましあう関係をさらに深めていきたい。

●活動報告

震災後、継続してきた西明石セカンドハウスだが、当初から「10年間の活動」との大家さんとの約束のもと、2021年3月末をもって終了した。2021年3月末までに西明石セカンドを含めて神戸YWCAでお迎えしたご家族は、合計88家族283人だった。

2021年度は、東灘区在住の会員からの申し出を受け、住吉駅近くでセカンドハウスを実施すべく準備していたが、コロナ禍のため残念ながら福島からの保養家族は0人だった。状況は変化しつつあるが、来年度も準備しつつお待ちしたい。

また、この10年間、互いに情報交換し、協力しあってきた「ほようかんさい」が、震災後10年の保養の記録を書籍にまとめてくれた。神戸YWCAもセカンドハウスの報告記事を提供し、掲載された。

2021年3月11日は震災から10年の節目だった。しかし現地での人々の生活は続いている。コロナのこともあって活動も細々とではあるが、何かつないでいけるものはないかを考えていきたい。

●活動実績

開催日	ミーティング (全てオンライン)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
4月2日	セカンドハウス ミーティング	日本YWCAセカンドハウスプログラムのルールや 運営について確認、質疑など	3	10 (全2回)	5
1月27日	ミーティング	カーロ福島職員から福島の現在また保養活動の現況報告、 2021年度振り返りと2022年度活動計画の検討	7		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数
4月9日	セカンドハウス引っ越し (西明石、住吉)	西明石から住吉へセカンドハウス引っ越し、備品搬入	3
4～3月	セカンドハウスプログラム (住吉)	福島およびその近隣県の放射能被災下にある家族の保養 受け入れ実施。ただしコロナ禍により参加者なし	0
4～10月	こんど、いつ会える？～原発事故後の 子どもたちと、関西の保養の10年～	「ほようかんさい」編著書籍への寄稿など	2
延参加人数 (全2プログラム)			5

ユース・エンパワメント委員会

●活動方針・目標

多世代協働、多世代エンパワーメント、音楽、芸術、体験的教育、演劇などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

旅人ユースプロジェクト

代表 福田百
メンバー 2人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

目的：ユースが各チームやグループにボランティアとして関わることを通じて、その現場の魅力や課題に触れる。また、ユース・ミドル・シニアの対話を促進する。最終的には、ユースが企画運営を担うようになることを目指す。

年間目標：旅人ユースチームに中心的に関わるユースを3人増やす。

●活動報告

このプロジェクトは、ユースが参加したくなる・神戸YWCAの魅力に触れることのできる仕掛けをつくりたいという思いから立ちあがった。その思いを叶えるには、神戸YWCA会員の協力が必要であることから、まず、旅人ユースプロジェクトのガイドブック作成に取り掛かった。「ユース」「旅人」「ボランティア」の3つのキーワードに着目する背景や具体的な流れをイラストも交えながらまとめた。ガイドブック作成に際して、月1回程度オンライン上で集まり、別プロジェクトやグループの状況を意見交換しながら本プロジェクトの意義を協議でき、メンバー全員で構想を確認できた。

次に、夏プログラムと題して、「子ども主催アナログゲーム大会のサポート」と「保育園デッキのペンキ塗り替え」をユースに参加してもらいたいプログラムとして設定し、広報を実施した。1名申し込みがあったものの、台風などの影響があり参加には至らずといった状況であり、ユースに参加してもらうための仕組みづくり・広報の在り方に課題が残った。

●活動実績

開催日	ミーティング (全てオンライン)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
4月17日	第1回ミーティング	旅人ユースの内容確認と質疑、説明パンフの作成	4	22 (全6回)	3
5月4日	第2回ミーティング	旅人ユース紹介パンフの検討	4		
6月12日	第3回ミーティング	旅人受け入れグループの検討	3		
7月3日	第4回ミーティング	夏および秋プログラムの概要決定、募集チラシの作成、スケジュール確認	3		
7月31日	第5回ミーティング	参加者への当日対応、タイムスケジュール、保険の件など	4		
12月19日	第6回ミーティング	2021年度振り返りと2022年度活動計画検討	4		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	旅人ユース参加人数
8月5日	こどもいいんかい主催アナログゲーム大会のサポート (神戸YWCA分室)	ゲーム大会への参加、運営補助	こどもいいんかいメンバー	0
8月7日	保育園デッキ塗り替え (神戸YWCA本館)	保育園デッキのペンキ塗り *台風のため中止	なし	0
延参加人数 (全2プログラム)				0

こどもいいんかいプロジェクト

代表 木村文子
メンバー 2人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

目的：子どもの「やりたい」を、形、プロジェクトにする。思い描いたプロジェクトを遂行するためには何

が必要かを自ら考え行動をする。子どもは問題提起と解決方法の力をつけ、次世代を担う力をつける。
大人は子どもからの発信に刺激を受け協働できる関係を目指す。

年間目標：子ども発信のプロジェクト・イベント開催

●活動報告

緊急事態宣言明け6月から始動。子どもを集めるため遊びながらも情報収集しつつ模索することになった。まずは、大人委員でミーティングを開き、大まかな方向性を決定後、子どものミーティングでアナログゲーム会を開催することを決定。

下校の早い日や長期休暇中を中心に計4回のミーティングと作業を行い、話し合いの後はゲームで遊ぶ時間を設けてアナログゲームの浸透を図った。

8月5日の大会当日は、より多くの種類のゲームを用意し、大人も交えて楽しんだ。「青柳さんのおもちゃで遊ぶコーナー」で体や手を動かす場も設ける等して好評を博した。「こどもいいんかい」を保護者に知ってもらおうきっかけにもなった。子どもがゲーム紹介をしてくれる積極性も見られて、「こどもいいんかい」の土台ができていと感じている。

次年度は本館に場所を変えるため子どもの往復路安全体制、日程調整など課題がある。他グループや他団体と交流も考えたが、人との交流と自粛とのバランスが難しいと感じている。

分室近辺に住む小学生中心でメンバーが構成されていたので、2022年度本館に拠点を移すこと、子どもたちの学年が上がり、中学生になるメンバーもいることなどからメンバー確保が課題である。また参加者とこどもいいんかいのメンバーとの境目を明確にしていなかったため、2022年度はこどもいいんかいのこどもメンバーをはっきりと決めるなど内部ルールの必要も感じている。

●活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA本館とオンライン)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
4月22日	第1回ミーティング	意見交換と今後の進め方	2	9 (全3回)	3
6月26日	第2回ミーティング	ゲーム大会と夏休みの企画案	4		
7月19日	第3回ミーティング	7/21 こどもミーティングの打ち合わせ	3		

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
7月17日	第1回こどもミーティング	ゲーム会について		6
7月21日	第2回こどもミーティング	8月5日ゲーム大会について		9
7月27日	第3回こどもミーティング	ゲーム大会準備物について		7
8月4日	第4回こどもミーティング	ゲーム大会の会場の準備について		5
8月5日	アナログゲーム大会	アナログゲームを多くの人と楽しもう		14
9月29日	第5回こどもミーティング	ゲーム会		5
12月17日	第6回こどもミーティング	新ゲーム発表会		7
1月7日	第7回こどもミーティング	ゲーム会と話し合い		7
3月24日	第8回こどもミーティング	ゲーム会と話し合い		7
延参加人数 (9プログラム)				67

グループ

愛農人倶楽部

代表 大石知世子
メンバー 3人

●活動方針・目標

活動方針：完全無農薬有機栽培の野菜づくりを通して、土に触れ、自然を知り、収穫した野菜を食べることによって、いのちの大切さを知る。また協働で作業することにより人との交流を楽しむ。

活動目標：・定例会として毎月約1～2回、道場の風キャビン農園にて農作業を実施、季節の野菜を作り収穫する。

- ・メンバー募集とビジター参加者を募集
- ・畑とプラスαの倶楽部の活性化

●活動報告

今年度はコロナと代表自身の仕事多忙で、活動が殆どできない結果となった。3月が雨で中止、4月末に定例会の予定だったが、コロナ感染再拡大により緊急事態宣言が発令され、活動は休止となった。5月に愛農人倶楽部グループラインを開始、懇親会を案内し、久々にメンバーと顔を合わせ楽しい会となった。5月末に車のメンバー1世帯が畑作業に行き、収穫物を神戸YWCAで販売、好評だった。宣言解除後7月にメンバーのみで夕方より作業した。夕方作業は涼しく好評だった。8月～9月は再び緊急事態宣言で休止、制限解除後10月、11月は代表自身とメンバーも多忙で中止、12月は代表のみでの作業となった。さつま芋を12月まで放置して駄目かと思っていたが、大きく成長して沢山収穫できた。活動がままならない中、芋は順調に成長していたのを見て活動の可能性を感じた。来年度で30年目、定例日を固定制にする等参加しやすい形を模索し、細く長く楽しめる活動をしていきたい。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数
5月16日	リモート懇親会 (オンライン)	メンバーの近況、ステイホーム中のマイブーム、畑の今後の話し合い	8
5月23日	有志で作業 (神戸市北区道場・風キャビン農園)	収穫(えんどう豆、絹さや、苺)、夏野菜とさつま芋苗植え付け	4
7月23日	第1回定例会 (神戸市北区道場・風キャビン農園)	夏野菜の世話と藍収穫、雑草刈り、収穫(藍、紫蘇、小松菜)	5
9月22日	有志で作業 (神戸市北区道場・風キャビン農園)	夏野菜の世話、草刈り	1
12月19日	第2回定例会 (神戸市北区道場・風キャビン農園)	さつま芋掘り大収穫、整地、収穫(さつま芋)	1
延参加人数 (全5プログラム)			19

声の奉仕



代表 坂本雅子 佐々木彰子
メンバー 11人

●活動方針・目標

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行う。技術向上のため月1回講師による朗読の学習、指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化などしたものをリスナーに発送。

●活動報告

毎月第4火曜日に例会と勉強会を持ち、例会では日赤声の奉仕団からの報告、神戸YWCAグループが担当する録音図書の企画、報告などの話し合いを、勉強会では酒井茂樹さんの指導のもと朗読勉強会を行っている。

兵庫県声の図書赤十字奉仕団が制作する声の月刊誌「花時計」7月号の制作を担当。「PHP」担当箇所での朗読・録音、「日赤声のアルバム」発行CD製作とモニターを発行時に行った。日赤での運営委員会、デイジー図書ミーティングなどに参加。録音、編集などの作業にも携わった。今年度は有志の単行図書「人質の朗読会」を制作した。

今年度は状況の変化などで、休刊、活動停止などがあり、発声練習、例会、勉強会などを予定通りに行えなかったことも多かった。数回リモートで例会、勉強会、打ち合わせなどを行った。

単行図書「本日のメニューは。」を企画中、つちのこ「或る洋食屋の一日」を制作した。

恒例のリスナーとの交流会は昨年同様今年度も中止となった。(例年はリスナー、同行者、団員など約150人が参加)

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月7日	発声練習会 (リモート)	朗読勉強会		6
5月12日	発声練習会 (リモート)	朗読勉強会		7
5月31日	本部役員会	コロナ対応、活動方針検討		1
6月2日	発声練習会 (リモート)	朗読勉強会		6
6月5日	運営委員会 (メール)	意見交換		3

7月1日	編集作業（日赤）	花時計		1
7月5日	デイジー班作業（日赤）	声のアルバム		1
7月12日	デイジー班作業（日赤）	声のアルバム		1
7月16日	単行図書委員会（日赤）	単行図書の検討		1
7月25日	本部役員会	コロナ対応、活動方針検討		1
7月27日	第1回定例会	運営委員会報告、活動方針検討		6
7月27日	定例勉強会	朗読勉強会	酒井茂樹	5
8月1日	運営委員会（メール）	意見交換		3
9月13日	デイジー班作業（日赤）	声のアルバム		1
9月25日	本部役員会（日赤）	コロナ対応、活動方針検討		1
9月28日	第2回定例会	運営委員会報告、活動方針検討		8
9月28日	定例勉強会	朗読勉強会	酒井茂樹	8
10月3日	運営委員会（日赤）	活動報告、活動方針		1
10月9日	活動検討	つちのこ企画、花時計打ち合わせ		3
10月18日	読み合わせ	つちのこ		4
10月26日	第3回定例会	運営委員会報告、活動方針検討		10
10月26日	定例勉強会	朗読勉強会	酒井茂樹	9
11月1日	デイジー班作業（日赤）	声のアルバム		1
11月8日	デイジー班作業（日赤）	声のアルバム		1
11月17日	朗読・音訳を見直す会例会（日赤）	活動方針		1
11月19日	単行図書委員会（日赤）	単行図書の検討		1
11月21日	勉強会（日赤）	マイスタジオ操作説明		8
11月30日	第4回定例会	運営委員会報告、活動方針検討		12
11月30日	定例勉強会	朗読勉強会	酒井茂樹	11
12月5日	運営委員会（日赤）	活動報告、活動方針		2
1月7日	声のアルバム（兵庫津ミュージアム）	取材		3
1月10日	デイジー班作業（日赤）	声のアルバム		1
1月17日	デイジー班作業（日赤）	声のアルバム		1
1月19日	朗読・音訳を見直す会例会（リモート）	活動方針		2
1月25日	第5回定例会（リモート）	運営委員会報告、活動方針検討		11
1月29日	本部役員会（メール）	コロナ対応、活動方針検討		1
2月1日～7日	運営委員会（メール）	意見交換		2
2月12日	研修会（リモート）	「赤十字ボランティア基礎反復研修会」		3
2月22日	第6回定例会	運営委員会報告、活動方針検討		6
2月22日	定例勉強会	朗読勉強会	酒井茂樹	7
3月7日	デイジー班作業（日赤）	声のアルバム		1
3月14日	デイジー班作業（日赤）	声のアルバム		1
3月16日	朗読・音訳を見直す会例会（日赤）	活動方針		2
3月18日	単行図書委員会（日赤）	単行図書の検討		1
3月22日	第7回定例会	キャビネット整理、活動方針検討		7
3月22日	定例勉強会	朗読勉強会	酒井茂樹	6
3月25日	本部役員会（日赤）	活動方針		1
延参加人数（全47プログラム）				180

讃美歌を歌おうかい

代表 中尾廣美、大工原則子
メンバー 6人

●活動方針・目標

讃美歌に親しみ、共に楽しく歌う。

●活動報告

昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延により、プログラムを開催することができなかった。次年度からスタートできることを願う。

聖書を読む会

代表 中尾廣美、大工原則子
メンバー 5人

●活動方針・目標

聖書の学びにより、イエス・キリストの愛と平和が広がるように願う。

●活動報告

昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延により、プログラムを開催することができなかった。新しく講師を担ってくださる方を検討している。神戸YWCAの基盤であるキリスト教をより理解し、活動を続けられるよう努力していきたい。

ジェンダーグループ

代表 斎藤明子
メンバー 3人

●活動方針・目標

誰にでもある、ジェンダーへの疑問や思いを肩ひじ張らずに素直に語り合い、学べるような活動につなげたいと考えている。その過程を通じ、自分への気づきから始まり、さまざまな機会が性別の有り様にかかわらず平等に与えられ、共に支え合って生きていける社会作りを目指す。

●活動報告

今年度は元町映画館との連携ができて、映画を見ての「感想シェア会」をオンライン形式で3回行った。子どもの性的な扱われ方を鋭く追及した「SNS少女たちの10日間」、韓国の女性労働者の問題を扱った「サムジンカンパニー1995」、そして家事について改めて考えさせられた「主婦の学校」。各回、YWCA関係以外からの参加者も多く、充実した意見交換ができた。ミーティングを毎月1回オンラインで実施。「感想シェア会」のFBおよび次回の企画、また取り組むべきジェンダーの課題、取り組み方について考えた。ジェンダーに関する課題は幅広い。今年度は「映画」をツールとして進めたため、様々なテーマについて知ることになった。しかし、そのテーマについて深く考察できるような活動までには至らなかった。次年度はテーマを絞ってより深く学び、発信につなげたい。

●活動実績

開催日	部会 (付記以外、オンライン)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数	平均 参加人数
4月19日	第1回ミーティング	活動方針、映画感想シェア会計画	5	40 (全10回)	4
5月21日	第2回ミーティング	映画感想シェア会打ち合わせ、 前年度アンケート回答送付の件	5		
7月4日	第3回ミーティング	元町映画館林さんをむかえて	5		
8月8日	第4回ミーティング (喫茶店)	第2回感想シェア会打ち合わせ	5		
9月18日	第5回ミーティング	神戸フラワーデモ主催の会への参加感想等	4		
10月10日	第6回ミーティング	次回感想シェア会打ち合わせ	3		
12月19日	第7回ミーティング	感想シェア会振り返り	3		
1月23日	第8回ミーティング	次年度計画について、 今後の活動参加について	3		
2月20日	第9回ミーティング	次年度シンポジウム実施について	3		
3月27日	第10回ミーティング	シンポジウム講師とのミーティング	4		

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	参加人数
6月5日 8月9日 12月4日	映画感想シェア会（オンライン）	『SNS—少女たちの10日間』、 『サムジンカンパニー』、『主婦の学校』	31 (全3回)

ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

代表 寺沢京子
メンバー 4人

●活動方針・目標

- ・他団体、グループと橋をつなぎ、協力して平和構築活動を進める。
- ・講演会や学習会などを行い、学び、語り合う。

●活動報告

「学び 語り合い つながる会」（第10回）を、6月12日に喫茶エスポワールで催した。テーマは「ジェンダーの視点からみる学校教育の現状と課題」で、大阪大学大学院で研究しておられる、近藤凜太郎さんに語ってもらった。

その後はコロナ禍のため、会を開くことができなかった。そこで、ジェンダーをテーマにして『ピース・ブリッジだより No.2』を発行した。

コロナ禍で、実際に集まり語り合うことはできなかったが、「ピース・ブリッジだより」を通して、学び、つながり合うことができたのではないかと、思っている。

来年度は、直に集まり「学び 語り合い つながる」ことができることを願っている。まずは、「気候変動」をテーマにしたいと考えている。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名（場所）	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月12日	学び 語り合い つながる会（第10回） （喫茶 エスポワール）	ジェンダーの視点からみる 学校教育の現状と課題	近藤凜太郎 大阪大学大学院人間科学 研究科博士後期課程	8
9月20日	『ピース・ブリッジだより No.2』発行			

文学講座

代表 中尾廣美
メンバー 5人

●活動方針・目標

- ・文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。
- ・清少納言の「枕草子」を完結まで読む。

●活動報告

例年、毎月（8月を除く）第3火曜日13時30分より神戸YWCA本館で実施している。笠原芳光さん（元・京都精華大学学長、理事長）が始められた講座であるが、亡くなられた後もメンバーで自主勉強している。清少納言の「枕草子」を読み継いでいる。読み合って、いろいろの本から解釈を学んでいる。自由な意見の交換もあり、「生き方」や生活を学んでいる。しかし今年は、新型コロナウイルス感染拡大のため休会せざるを得ないことも多数回あり、残念な思いである。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 （神戸YWCA本館）	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
10月19日	第1回文学講座	枕草子 178段～184段	メンバーで自主勉強	4
12月21日	第2回文学講座	枕草子 184段～185段	メンバーで自主勉強	4
延参加人数（全2プログラム）				8

平和活動グループ

代表 鶴崎祥子
メンバー 5人

●活動報告

2021年度も引き続き世界的なコロナの猛威であった。マザーズカレッジ企画会の予定も、ストーリーテリング研究会2つのみにした。例年開催の公開講座は見送った。

そんな中、一人ひとりがよりよく生きるために、という方針は図らずも個別の時間が増えたことで、一人として何を考え、行うのかという足元を見る機会になったと思う。研究会は緊急事態宣言が何度も出たことで中止、延期を余儀なくされたが、研究会員それぞれの学びが深まったと考えたい。

ストーリーテリング研究会（大月先生）は、登録25人。10月によく再開された。2回終了し後2回は蔓延防止措置が出たため中止になった。

ストーリーテリング研究会（芦田先生）は、2020年の登録は22人だったが、長引く間に状況が変わり退会する人が数人出た。全6回の研究会が2年がかりで終了した。新規研究会員を募集する。

真生塾は引き続き休止中。

●活動実績

ストーリーテリング芦田先生研究会

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
7月26日	第1回	おはなし、詩実践 課題本『アルハンブラ物語』『ストーリーテラーへの道』4、5章	芦田悦子	17
11月29日	第2回	おはなし、詩実践 課題本『アルプスの少女ハイジ』『ストーリーテラーへの道』6章	芦田悦子	16
3月22日	第3回	おはなし、詩実践 課題本『仔鹿物語』『ストーリーテラーへの道』7、8章	芦田悦子	15
延参加人数（全3プログラム）				48

ストーリーテリング大月先生研究会

開催日	プログラム・イベント名 (神戸市青少年会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
10月22日	第1回定例会	詩の実践『つばさの贈り物』	大月ルリ子	25
11月26日	第2回定例会	絵本の発表 絵本よみきかせ実践『つばさの贈り物』1、2、4章	大月ルリ子	28
延参加人数（全2プログラム）				53

神戸真生塾

開催日	プログラム・イベント名 (神戸真生塾)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数	
				子ども	先生
コロナにより中止					

夜回り準備会



代表 南部直樹

メンバー 約30人（メーリングリスト参加者を含む）

●活動方針・目標

すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣い、野宿者や生活困窮者に寄り添う活動を行う。具体的には神戸市東部から芦屋市にかけての夜回りと昼回り、必要に応じての生活保護申請同行や居宅確保などのサポート、医療支援、越年越冬活動への参加、行政への働きかけとアドボカシー、メンバーの研修や勉強会、他団体や他機関との協働、年次報告書発行などのプログラムを昨年度に引き続いて実施する。また、前年度の目標であったが取り組めずに終わっている格差拡大・非正規雇用の問題や、コロナで生活に打撃を受けている女性への支援についても、2021年度はなんらかのアクションを取りたい。

野宿者の数は減少しているが、貧困や格差の問題は深刻化している。当グループの果たす社会的役割はむしろ増大しているため、今後も中長期に渡って活動が継続できる体制を整えていきたい。

●活動報告

「夜回り」は、当初の計画通り、月2回の活動を継続した。また、出会った人のうち個別に対応が必要と思われた方に対しては、本人の希望する支援につながるよう、相談の場を設けた。また、新しい活動として、食料支援を必要とされる方に食料を配布する活動「フードパントリー」を実施した（5月下旬～7月下旬の計5回）。配布する食料は、コープこうべを中心に、ご厚意により、無償でご提供いただいた。

一方で、長年活動の主軸を担ってきたメンバーが退会し、活動の位置づけや会の方向性について、メンバ

一同士での認識のすり合わせが必要と思われる点も目立ってきた。そこで、月1回で実施している定例のミーティングとは別に、「方向性会」と称して臨時のミーティングを開催した(9月、10月の計2回)。

なお、上記のようなメンバー間の話し合いの場を設けることを重視したため、例年実施していた「神戸冬の家 越年越冬活動」への参加は見合わせた。

○活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	夜回り先件数 ()は出会った人数	参加人数
4月10日	第1回 夜回り	灘、東灘地域で野宿生活をしている人の訪問活動。 その人が望むようなかたちで暮らすことの手伝いをしたいと考えている	5 (3)	4
4月24日	第2回 夜回り		4 (2)	4
5月9日	第3回 夜回り		5 (2)	3
5月22日	第4回 夜回り		5 (3)	3
6月12日	第5回 夜回り		5 (2)	3
6月26日	第6回 夜回り		4 (3)	3
7月10日	第7回 夜回り		4 (4)	4
7月24日	第8回 夜回り		4 (2)	3
8月14日	第9回 夜回り		4 (3)	3
8月28日	第10回 夜回り		4 (3)	3
9月11日	第11回 夜回り		3 (3)	3
9月25日	第12回 夜回り		4 (3)	4
10月9日	第13回 夜回り		4 (3)	4
10月23日	第14回 夜回り		4 (2)	2
11月13日	第15回 夜回り		4 (2)	4
11月27日	第16回 夜回り		4 (4)	4
12月11日	第17回 夜回り		4 (4)	4
12月25日	第18回 夜回り		4 (4)	4
1月8日	第19回 夜回り		4 (3)	3
1月22日	第20回 夜回り		4 (3)	2
2月12日	第21回 夜回り		4 (4)	4
2月26日	第22回 夜回り		4 (4)	3
3月12日	第23回 夜回り		4 (4)	4
3月26日	第24回 夜回り		4 (3)	3
延参加人数 (全24プログラム)			99 (73)	81

開催日	プログラム名 (場所)	テーマ・主な内容	出会った人数	参加人数
5月29日	第1回フードパントリー (神戸YWCA分室)	食料支援を必要とされる方に食料を配布する活動	4	4(3)
6月12日	第2回フードパントリー (神戸YWCA分室)	食料支援を必要とされる方に食料を配布する活動	18	4(3)
6月26日	第3回フードパントリー (神戸YWCA分室)	食料支援を必要とされる方に食料を配布する活動	11	5(6)
7月10日	第4回フードパントリー (神戸YWCA分室)	食料支援を必要とされる方に食料を配布する活動	20	3(4)
7月24日	第5回フードパントリー (神戸YWCA分室)	食料支援を必要とされる方に食料を配布する活動	20	3(2)
8月4日	更生援護相談所・更生センター見学 (更生援護相談所・更生センター)	野宿されている方に宿泊・相談等を提供している施設の状況を見学すると共に、神戸市としての対応状況を確認する	1	6
9月4日	方向性会 (神戸YWCA分室、オンライン)	活動の位置づけや会の方向性について、メンバー同士での認識のすり合わせ		6
10月2日	方向性会 (神戸YWCA分室、オンライン)			7
延参加人数 (8プログラム)			74	56

*参加人数のうち () は、夜回り準備会メンバー以外の参加者数

わいわい科学クラブ

代表 井上みち子
メンバー 3人

●活動方針・目標

- ・身近な題材で科学的実験や物づくりを体験する「わいわい科学クラブ出前教室」の活動を行う。
- ・出前教室で取りあげる実験や物づくりプランを整えるなど「わいわい科学クラブ出前教室」の態勢を作る。ホームページを作り直し、外部にも発信したい。
- ・「わいわいデイルーム」や「はっぴーすくーる」に出向き、高齢者や外国にルーツを持つ子どもたちに実験や物づくりの楽しさを知らせる。

●活動報告

昨年度に続くコロナ禍で、神戸YWCA「わいわいデイルーム」への出前を2件行ったのみとなった。4月に「重曹をつかったカンタン実験と電気パンづくり」、9月に「偏光板万華鏡づくり」を3～4人ずつに分かれて2回ずつ行った。利用者には楽しんでいただけたと思う。

担当者の体調不良が起り、今後のグループ活動は休止することにした。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数	科学クラブサポーター 参加人数	出前先サポーター 参加人数
4月20日	わいわいデイルーム出前①	電気パン	8	1	5
9月21日	わいわいデイルーム出前②	偏光板万華鏡	5	1	5
延参加人数(全2プログラム)			13	2	10

アフタヌーン・ティー

休会中

現代史勉強会いもづる

休会中

II 総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）

「支援を要する人々を援助し、地域の福祉を向上させる事業」を中心となり実施していく。

神戸YWCAまごの手

所長 寺内真子
居宅介護支援事業所管理者 吉田好江
ケアマネジャー 吉田好江、福嶋佳子
訪問介護事業所管理者 藤井かえ子
サービス提供責任者 藤井かえ子、川西正子（～2021年6月）
サービス提供責任者（パートタイム） 小野美津江、野村春美、吉田里子
子育て支援コーディネーター 藤原道子
常勤ヘルパー 山田司（2021年9月～）
事務パートタイム職員 湯朝律子、島村正
登録ヘルパー 新井育子、有富和子、浦川喜代美、大巻智子、奥乃恵美子、小原左江、加東みどり、川崎初子、北野真佐子、木村房代、久保田三鈴、斎藤美智、鈴木泰子、鈴木由希子、鈴木嘉一、竹内眞理子、田中秀子、谷口真弓、成田光晴、成美久美、福田悦子、前田豊子、松岡晴子、松田良枝、丸井和子、三木二三子、宮崎公子、宮田泰子、村瀬恵子、森本眞智子、守屋淑子、涌波啓子（32人）

居住支援事業

担当職員	寺内真子、吉田好江、塩見洋子
ボランティア相談員	宮田泰子、岩切幸子、瀬戸昭、野村春美、野々村耀
生活支援わいわい	代表 川辺比呂子
運営委員	井上みち子、三浦啓子、宮田泰子
担当職員	塩見洋子

●事業方針・目標

<居宅介護支援事業・訪問介護事業・居住支援事業>

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、居宅介護支援（ケアマネジメント）や訪問介護（身体介護、生活援助）等のサービスを行う。また、子育て中の家族を支援するために、家事援助や育児支援を行う。居宅介護支援事業や訪問介護事業とも連携をはかりつつ住宅確保要配慮者に対する居住支援事業を行う。

- ・神戸YWCA総合サポートセンターの他の地域福祉活動と連携する。
- ・地域包括ケアの実現を目指して、神戸YWCAの地域福祉活動、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所等と連携を強化する。
- ・利用者一人ひとりに寄り添い、切れ目のない支援を提供する。
- ・よりよいサービス提供に繋がるよう、事業所体制を整え、研修を充実させる。
- ・次代を担う人材を確保し、育成する。

<生活支援わいわい>

神戸YWCAの理念に基づき、お互いの支え合いで気持ちの良い、心豊かな暮らしが送れる地域づくりを目指し、会員が主体となって生活支援サービス活動を行う。

- ・初年度となる2021年度は、会員、分室利用者（元利用者も含む）、居住支援対象者などを対象に活動する。
- ・利用者のニーズに応えられるサービス提供を目指す。
- ・サービス提供者の研修・交流を充実させる。

●事業報告

<居宅介護支援事業>

居宅介護支援は主任介護専門員を含め、2人で業務を担当している。中央区、灘区を中心に誰もが安心して地域で暮らし続けられるように支援を行っている。

今年度に入っても新型コロナウイルス感染の感染者は増減を繰り返しており、感染力が強まったとの事で、手洗いや消毒など引き続き感染予防に努めてモニタリングや担当者会議を行っている。感染者数の広がりを受け、サービスを控える利用者もいた。新規利用者もおられたが、高齢者を支援している性格上、転倒や病気の悪化などにより、入院する方が数名おられた。御家族は施設に入所して欲しいという方もいたが、本人が自宅での生活を望んでいる為、在宅の生活ができる様に支援している。

支援を必要とされている利用者が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、自立支援の視点を持って、訪問介護や神戸YWCAの他の地域福祉活動、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他事業所と連携を強化し、利用者一人ひとりに寄り添える支援を提供する。利用者を増やすように努める。

<訪問介護事業>

サービス提供責任者2人が昨年度末に退職（うち1人は定年退職者で新年度はパートタイムで継続）、今年度6月末にも1人が退職することになり、大変厳しい状況であった。4月から新しい管理者が着任、また、サービス提供責任者（パートタイム）3人が着任した。管理者を中心に定期的なミーティングを開催し、チームワークで困難な時期を乗り切ってきた。9月下旬には、常勤ヘルパー1人を採用した。

月平均利用者数は137.1人、月平均利用時間数は993.1時間であった。今年度も新型コロナウイルス感染拡大（第4波～第6波）により、サービスの利用控えもあった。職員数の減少も影響し、利用者数、時間数ともに減少している。事務所体制を整えるという目標については、新しい管理者のもと、進展している。今後も引き続いて体制づくりを進めるとともに、効率化をはかりたい。研修については、コロナ禍にあって、集合研修を開催することができないときは、レポート提出という方法で実施した。

まごの手設立時から社会も制度も大きく変化した。まごの手のビジョンと方向性について職員会で話し合いを進めている。

<居住支援事業>

入居前支援は、毎週月～金曜日に相談窓口を開設。昨年度から継続の3人を含めて19人から相談があり、うち12人と面談、9人（うち、4人は自力で確保、3人は他の居住支援法人に繋ぐ）が住宅確保した。入居中支援として、住宅確保された方からの相談に随時対応、見守り支援を行った。分室の木曜カフェも、活用した。

9月22日には「不動産事業者の思い、居住支援法人に期待すること」というテーマで居住支援セミナーを開催。また、相談員のスキルアップのために、6月21日には「精神障害者の居住支援」、11月19日には「障

害者の暮らしを支えるしくみ・制度・サービスについて」というテーマで内部研修を実施した。

今年度も近畿大学寺川政司准教授と学生の協力を得て、居住支援ネットワーク会議を月1回開催した。様々な角度から居住支援の課題を検討、解決の方策を探った。その一つとして分室を改修し活用する「多世代多文化の人々をつなぐ地域拠点づくり」の企画提案づくりを行った。

<生活支援わいわい>

昨年度に引き続き今年度も緊急事態宣言発令でサービス活動開始が遅れた。8月、会員・会友に向け活動紹介とメンバー募集の手紙とリーフレットを機関紙と共に送付した。サービス活動は5月～9月を試行期間とし荷物運搬、庭の草取り、引っ越しに伴う居住スペースの整理などを行った。10月からは新規申込者に対し掃除、衣服の整理、外出同行を月1～2回のペースで行っている。新規申込者にはコーディネーターが訪問、依頼内容を確認して契約を行っている。サービス提供者ミーティングは10月にもち、文書の確認とメンバー登録を行った。ミーティングは当初、研修等を含め隔月に開催予定であったがコロナの状況により予定通りには開催できなかった。2021年度登録メンバーは17人。神戸YWCAの身近なところから反響があり、生活支援サービスが必要とされている事を改めて知らされた。一般に向けての働きとしてはまだまだ学ぶことが多いと感じている。

●事業実績

まごの手事務会・プログラム・イベント等

プログラム、ミーティング等 (神戸YWCA本館)	在籍数	回数
事務会	8	12

●事業データ

サービス種類			2019年度 月平均	2020年度 月平均	2021年度 月平均
居宅介護支援事業	居宅介護支援	件数	40.2	38.3	39.3
	介護予防支援/ 介護予防ケアマネジメント (委託)	件数	13.1	12.3	13.4
	件数計			53.3	50.6
訪問介護事業	訪問介護	利用時間数	407.2	413.9	364.1
		利用者数	36.7	35.8	30.4
	介護予防訪問サービス (総合事業)	利用時間数	301.9	305.8	293.7
		利用者数	49.2	50.0	48.2
	生活支援訪問サービス (総合事業)	利用時間数	7	4.9	0.8
		利用者数	2	1.3	0.5
	障害福祉サービス (居宅介護)	利用時間数	125.8	128.2	127.5
		利用者数	13.9	13.0	11.8
	障害福祉サービス (同行援護)	利用時間数	88	48.7	18
		利用者数	6.8	5.6	5.4
	障害福祉サービス (移動支援)	利用時間数	39.9	31.3	30.6
		利用者数	3	1.8	2.1
	神戸市養育支援訪問事業 (産前・産後、養育支援ヘルパー派遣)	利用時間数	111.6	75.0	78.5
		利用者数	23	17.5	18.4
	ホームヘルプ (自費)	利用時間数	40.7	38.8	46.2
利用者数		14.5	15.1	16.2	
産前産後ホームヘルプ (自費)	利用時間数	8.2	9.7	9.8	
	利用者数	2.4	2.3	1.8	
神戸市認知症高齢者訪問支援員派遣事業 (ほっとヘルパーサービス)	利用時間数	24.7	27.2	23.9	
	利用者数	2.8	3.4	2.3	
利用時間数 (延) 計			1,155	1,083.5	993.1
利用者数 (延) 計			154.2	145.7	137.1

*産前産後ホームヘルパー派遣に養育ヘルパー派遣事業を含む

内部研修 (訪問介護事業所・全体)

開催日	内容 (神戸YWCA本館)	講師等	回数	出席者数	レポート 提出者数
4月	個別スーパービジョン	藤井かえ子、寺内真子	1	23	
5月	高齢者・障害者虐待について (レポート)	藤井かえ子	1	-	22
6月	個別研修計画について (レポート)	藤井かえ子、寺内真子	1	-	20

7月	利用者から受けるハラスメント対策について (レポート)	藤井かえ子	1	-	10
8月	感染症予防について (レポート)	小野美津江	1	-	23
9月	ヘルパー不在時の危険回避～独居でも安心して暮らせるように～ (レポート)	藤井かえ子	1	-	19
10月16日	精神障害者の地域移行について	坂井宗月 (中央むつみ会理事長)	1	15	-
12月11日	腰痛予防とストレスケア サービスについて (講義)	木村圭佑 (株式会社アールイー コンセプト・理学療法士)	1	6	-
1月29日	事例検討～重度の方への支援～	藤井かえ子	1	8	-
2月20日	認知症ケア (映像+カフェ)	藤井かえ子	1	12	-
3月19日	2022年度ヘルパー登録説明会・研修会	藤井かえ子、寺内真子	2	27	-

外部研修 / 他団体関係 (居宅介護支援事業所)

開催日	内容	主催	回数	出席者数
10月～3月	介護支援専門員更新研修	兵庫県介護支援専門員協会	6	1
8月19日	介護保険制度の改定について	中央区ケアマネジャー連絡会	1	1
9月24日	「病院との連携」「地域の見守り・集いの場現状」	三宮圏域ケアマネジャー連絡会	1	2
10月23日	ケアマネジメントの流れ	神戸市ケアマネジャー連絡会	1	1
10月30日	疾患を理解する	神戸市ケアマネジャー連絡会	1	1
11月18日	ヤングケアラーの実態とケアラーの支援体制について	中央区内あんしんすこやかセンター	1	2
11月23日	思いを引き出す質問力を磨く	神戸市ケアマネジャー連絡会	1	1
12月17日	一地域でできないことも、 圏域全体で連携してできそうなこと	三宮あんしんすこやかセンター	1	1

外部研修 / 他団体関係 (訪問介護事業所)

開催日	内容	主催	回数	出席者数
1月16日	認知症介護基礎研修	認知症介護研究・ 研修仙台センター	1	1
12月9日、10日、16日、17日 1月20日、21日、27日、28日	同行援護従業者養成研修 (一般課程)	中山視覚福祉財団 神戸アイライト協会	2	3
2月25日、3月3日、4日	同行援護従業者養成研修 (応用課程)		1	1
2月14日	介護事業所のための人材育成セミナー	介護労働安定センター	1	1

実習受け入れ

開催日	内容	講師・実習指導	回数	実習生数
9月2日	神戸女子大学 介護福祉実習Ⅱ (オンライン) 特別講義「訪問介護事業所の概要等」	藤井かえ子	1	15
2月7日	神戸女子大学 2021年度福祉実習教育研究会 (オンライン)	藤井かえ子	1	-
2月8日	神戸女子大学 介護福祉実習Ⅱ (オンライン) 特別講義「訪問介護事業所の概要等」	藤井かえ子	1	18

相談窓口の設置 (居住支援事業)

窓口	在籍スタッフ数	開設日数	相談者数
相談窓口 (電話)	3	193	21
面談 (来所)	7	37	16

入居前の支援 (居住支援事業)

支援内容	利用者数
入居に向けた相談等	22
不動産店への同行・コーディネート	8
住宅確保	9 (自力確保4、他と連携3)

緊急連絡先の確保	1
----------	---

入居中の支援（居住支援事業）

支援内容	利用者数
見守り支援	5
入居後の相談	7
社会参加のための支援	3

ミーティング等（居住支援事業）

名称	在籍数	回数
居住支援相談事業ミーティング	7	12
居住支援ネットワーク会議（オンライン） 主催：神戸YWCA まごの手、近畿大学建築学部寺川研究室	14	9

内部研修（居住支援事業）

開催日	内容（神戸YWCA会館）	講師等	回数	出席者数
6月21日	精神障害者の居住支援	坂井宗月（中央むつみ会理事長）	1	7
11月19日	障害者の暮らしを支えるしくみ・制度・サービスについて	湯阪加奈子 （いそがみ障害者地域生活支援センター）	1	8

セミナー・勉強会等の開催（居住支援事業）

開催日	内容（神戸YWCA会館）	主催	回数	出席者数
9月22日	第1回居住支援セミナー 不動産事業者の思い、居住支援法人に期待すること	坂部叔子（株式会社マルサ 不動産代表取締役社長）	1	11
1月13日	居住支援フォーラム2021 居住支援と地域 活動報告：森本遼太（近畿大学寺川研究室） 基調講演「居住支援は地域とつながれるか？」 講師：石川久仁子（大阪人間科学大学准教授） シンポジウム「住宅を確保し、地域の中で安心して暮らし続けるために」 司会：寺川政司（近畿大学建築学部准教授） コメンテーター：齋藤瞳（アオバ住宅社） アドバイザー：石川久仁子 発題者：稲垣昇（kukururas 店長）、野村春美（神戸YWCA まごの手）	主催：神戸YWCA まごの手 協力：近畿大学建築学部 寺川研究室	1	29 （会場10人 オンライン 19人）

外部研修／他団体関係（居住支援事業）

開催日	内容（場所）	主催	回数	神戸YWCA出席者数（総数）
7月20日	令和3年度 居住支援法人交流会（すまいるネット）	神戸市居住支援協議会	1	1
11月5日	令和3年度 高齢者の住まいに関する 相談窓口の連携強化に向けた勉強会（すまいるネット）	神戸市居住支援協議会	1	1
9月9日	ひょうごん交流会（オンライン） 住まいと暮らしを支える居住支援	ひょうごん （ひょうご市民活動協議会）	1	1
11月4日	令和3年度 居住支援法人研修会（オンライン）	ひょうご住まいづくり協議会	1	5
2月18日	福祉と住まいをつなぐ仕組み（オンライン）	日本建築学会	1	1
3月23日	令和3年度 居住支援全国サミット（オンライン）	国土交通省・厚生労働省	1	5

サービス提供実績（生活支援わいわい）

開催日	サービス内容（場所）	作業時間	サービス提供者数
5月19日	車で荷物運搬（神戸YWCA分室→西明石）	3時間	1
7月17日	植木伐採、雑草処理（神戸市中央区）	1.5時間	1
9月21日	部屋掃除、かたづけ（芦屋市）	3時間	3
10月20日	ガラス拭き、話し相手（神戸市東灘区）	1時間	1
10月27日	掃除（神戸市須磨区）	1時間	1
11月9日	掃除（神戸市須磨区）	1時間	1

11月17日	衣服の仕分けの手伝い（神戸市東灘区）	1時間	1
11月24日	掃除（神戸市須磨区）	1時間	1
12月8日	外出同行（神戸市須磨区）	2時間	1
12月15日	床掃除・ワックスがけ（神戸市東灘区）	1時間	1
12月22日	掃除（神戸市須磨区）	1時間	1
12月29日	植木伐採、雑草処理（神戸市中央区）	2時間 3.5時間	1 1
1月12日	掃除（神戸市須磨区）	1時間	1
1月19日	掃除（神戸市東灘区）	1時間	1
2月23日	掃除（神戸市須磨区）	1時間	1
3月9日	掃除（神戸市須磨区）	1時間	1
3月16日	買い物同行、床ワックス掛け（神戸市東灘区）	1時間	1
3月23日	掃除（神戸市須磨区）	1時間	1

ミーティング等（生活支援わいわい）

ミーティング（神戸YWCA本館）	在籍数	回数	延出席人数	平均数
運営委員会	6	11	53	4.8

研修（生活支援わいわい）

研修（神戸YWCA本館）	回数	出席者数
サービス提供者研修	1	9

外部研修 / 他団体関係（全体）

開催日	内容（東灘地域助け合いネットワーク等）	主催	回数	出席者数
6月27日	ひょうごん福祉ネット総会	ひょうごん福祉ネット	1	2
8、10、12、2月	ひょうごん福祉ネット定例会	ひょうごん福祉ネット	4	1
9月28日、3月4日	居住支援部会	ひょうごん福祉ネット	2	1
7月8日	居場所部会（オンライン参加） 居場所見学会 西須磨だんらん	ひょうごん福祉ネット	1	1
8月24日、1月8日	生活支援部会	ひょうごん福祉ネット	2	1

神戸YWCA 保育園

園長 梅川玲子
 保育士 西村映穂、溝平明日香、西岡奈美、竹田孝子、村越彩、鎌田直子、中島ヒトミ（～5月）
 北野真佐子（5月～10月）平田早貴（6月のみ）、勝奈々子（12月のみ）、江崎公代
 管理栄養士 須山とも子
 調理員 渡辺民乃（管理栄養士、調理士）、溝口あや（調理士）

●事業方針・目標

- ・子どもたちの「今」を共に生きる。
- ・互いの存在を大切にしながら、子育てをしている人たちを支える。

●事業報告

今年度も昨年に引き続き、「コロナ」という状況の中で、子どもたち、保護者、職員の命を守ることに力を注いだ。職員の働きにより子どもたちの笑顔を絶やさず生活できたことに安堵している。YWCA保育園を選んでくださる方、たまたま入った方、様々ではあるが、入園後の子どもたちの様子から「ここに入れてよかった」と思っていただけの園になってきた。見せる保育をしているわけではないので、コロナ禍でも取り立てて大きな我慢はしなくて済んだ。緊急事態宣言の合間を見て「親子で楽しむ会」「ふれあい親子遊び」を開き、親子での体験を楽しむ時間もわずかではあったが持つことができた。

本年度から子どもたちの毎日を撮った写真を保護者に購入していただく方法を取り入れ、自由参観の代わりとして喜んでいただけている。

できないことを数えるのではなく、神様の守りのうちに工夫して前に進むことができた1年だった。

●事業実績（保育園園児数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	0	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	1
1歳児	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
2歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
計	8	10	10	10	11	11	10	11	11	11	11	10

12人定員ではあるが1歳児が6人在籍し、面積の関係で今年度は11人で定員となる。

神戸YWCA つどい場

若年性認知症の人たちとその仲間たちの集い カフェもぐもぐ

代表 宮田泰子
 メンバー 8人
 担当職員 塩見洋子

●活動方針・目標

コミュニティーカフェの役割として以下を行う。
 ・当事者の声を聞きながら活動を進めていく。
 ・若年性認知症についての啓発活動を行う。
 ・仲間を増やす。

●活動報告

コロナ感染症による緊急事態宣言で5月、6月、9月、2月の4カ月の活動は中止となった。昨年度に引き続き今年も、10時30分～13時に時間を短縮し、近況報告、体操、お茶タイムのスケジュール等は感染対策を心がけながら行った。近況報告ではメンバーの思いを伝え合うことに重きをおき、活動に生かした。

4月と11月には弁当持参で外出プログラムを行い、緊急事態宣言解除後の12月はみんなで食事を作り、楽しい時を過ごすことができた。今年は例年行っている認知症サポーター養成講座と他団体との交流プログラムは持つことが deki

なかった。活動を始めて5年が経過し、コロナの影響による生活環境の変化も大きいと思われるが、メンバーそれぞれの状況が次第に変化してきていることを強く感じている。うれしいこと、楽しいこと、困っていることに応えながら、必要に応じて、家族も含め、一人ひとりのほっとできる居場所となることができればうれしいと思っている。

分室にかわり次年度からの通常活動の場所は、日本基督教団神戸聖愛教会を借りて開催することになった。新たな活動やできることなどを話し合いながら進めていきたい。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数					合計
			当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体等 その他	職員	
4月3日	第1回カフェもぐもぐ (宮本公園)	外出プログラム お花見(お寿司の弁当)	2	1	6	0	1	10
5月1日	第2回カフェもぐもぐ	中止						0
6月5日	第3回カフェもぐもぐ	中止						0
7月3日	第4回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(サンドイッチ)	2	1	5	0	1	9
8月7日	第5回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(サンドイッチ) 県社会福祉協議会家族会報告	1	1	3	0	1	6
9月4日	第6回カフェもぐもぐ	中止						0
10月2日	第7回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン リフレッシュ体操 近況報告・軽食(サンドイッチ)	2	1	4	0	1	8
11月6日	第8回カフェもぐもぐ (宮本公園)	外出プログラム	1	1	3	0	1	6
12月3日	第9回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・昼食のカレーづくり	1	1	5	0		7

1月15日	第10回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食（お寿司）	1	1	4	0	1	7
2月5日	第11回カフェもぐもぐ	中止						0
3月5日	第12回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食（一口パン） 片付け・ミーティング	1	1	3	0	1	6
延参加人数（全12プログラム）			11	8	33	0	7	59

開催日	プログラム名	テーマ	当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体など その他	職員	合計
11月18日	令和3年度市民公開講座	認知症の人たちの行動や背景を知る					1	1

ちやいやあらんど

代表 木村文子
メンバー 2人

●活動方針・目標

- ・子育て中の家族支援、特に就学前の子どもをもつ母親の仲間づくり、リラックスできる場所づくりを支援する。
- ・参加者と共に親と子どもが楽しく集える場を創る。
- ・地域や社会を知り、つながるちやいやあらんどとする。
- ・分室での異世代交流、異文化交流を楽しむ。

●活動内容

- ・ぬいぬいの会：10時～12時、水・金曜日に月1回ずつ
- ・通常オープン（おしゃべりママの会、スクラップブックの会）：11時～14時30分（プログラムによっては10時～12時）、奇数週水曜日（第1、第3、第5）、分室の空き状況に応じて金曜日にも開催する。
- ・就園前や就学前など、年齢にとられない集いにすることで子どもを通じて親を、親を通じて子どもを結んでいく。

●活動報告

今年度も感染症対策期間のあおりを受けたこと、前年度からの人の流れを取り戻すきっかけやタイミングをつかめなかったことなどもあり参加が少なかった。

後半は門戸を開けてオープンな状態を作ることを目的にし、1人でも来てもらえる居場所づくりであればいいと定期開催を目指した。

1人で来られて話づらいことを話してくれる利用者もいた。わいわいと楽しむ場は少なかったが子どもから離れるママの時間として機能することがあり、そういった場の需要が高まっていることを感じた。

●活動実績

開催日	プログラム、イベント名 (神戸YWCA分室)	講師名等	活動対象者		その他		総計
			大人	乳幼児	参加者	ボランティア	
4月2日	第1回おしゃべりママの会		4	2	4	2	12
6月21日	第2回おしゃべりママの会		1	1	1	2	5
6月30日	第3回おしゃべりママの会		2	1	2	3	8
7月7日	第4回おしゃべりママの会		0	0		2	2
7月21日	第5回おしゃべりママの会		3	1	3	2	9
9月15日	第6回おしゃべりママの会		1			2	3
9月29日	第7回おしゃべりママの会		1	1		2	4
10月6日	第8回おしゃべりママの会					1	1
10月20日	第9回おしゃべりママの会		1			1	2
11月17日	第10回ぬいぬいの会（布のおもちゃづくり）	阿部真理子	3			3	6
12月1日	第11回おしゃべりママの会					2	2
12月15日	第12回ぬいぬいの会（布のおもちゃづくり）	阿部真理子	4	3	5	4	16

12月22日	第13回おしゃべりママの会					2	2
2月16日	第14回おしゃべりママの会		2	1	1	3	7
3月9日	第15回おしゃべりママの会		1			2	3
3月16日	第16回おしゃべりママの会					2	2
延参加人数(全16回)			23	10	16	35	84

弓の木歌の集い

代表 橋本静子
メンバー 2人

●活動方針・目標

弓木南市営住宅の高齢者を対象に、歌を通して生活の活性化と親睦を図る。

●活動報告

コロナ発生以来、昨年に引き続き今年度も休会中である。おそらく再開は難しいかと思われるが、弓木南市住からの通知待ちという現状である。

わいわい食事会

代表 井上みち子、三浦啓子
メンバー 13人
担当職員 塩見洋子

●活動方針・目標

住み慣れた地域で豊かに暮らしたいとの願いを共有する人たちと「お互いさま」の精神で、食事会を開く。

●活動報告

コロナ禍で計画どおりにはいかなかったが、上半期は4～7月に3回の茶話会を開催した。参加者は分室のボランティアと利用者、会員。年齢層は60代から90代である。毎回15人近い参加があり盛況だった。9月末の緊急事態宣言解除後は、10、11月に密を避けて2回ずつ茶話会を開催。12月は初めて食事会を行った。みんなで手作りする食事は提供できなかったが、17人もの参加があり、豊かなクリスマスの祝会となった。

定例の茶話会はそれぞれの近況報告から始まり、「今どきの流行りもの」を学ぶコーナーがあり、音楽を楽しみ、後はティータイムと、1時間半で盛りだくさんの内容だ。旧知の仲間が集まり、分室で一緒にまた活動することで、「繋がり」を実感してきた。

しかし分室閉館に伴い、わいわい食事会は「多世代が集い、助け合いながらみんなで食事づくりをして、それを楽しむ」という当初の目標が達成できないまま今年度で休止することになった。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月16日	第1回茶話会	「今どきの流行りものーLGBT」ミニ講座 交流、ピアノ演奏、歌唱	橋本静子 川辺比呂子	14
6月25日	第2回茶話会	〃	〃	14
7月16日	第3回茶話会	「今どきの流行りものー韓国ドラマ『愛の不時着』」 交流、ピアノ演奏(シューマン作品)、歌唱	〃	14
10月15日	第4回茶話会	「今どきの流行りものーオードリー・タン」 交流、ピアノ演奏(世界の民謡)、歌唱	〃	11
10月22日	第5回茶話会	〃	〃	13
11月19日	第6回茶話会	「今どきの流行りものーコロナ1年のふり返り」 交流、ピアノ演奏(ポピュラー音楽)、歌唱	〃	12
11月26日	第7回茶話会	〃	〃	12
12月17日	第8回茶話会	クリスマス会、交流 ピアノ演奏(クリスマスソング)、讃美歌、軽食		17
1～3月	新型コロナウイルス感染予防のため開催中止			
延参加人数(全8回)				107

わいわいデイルーム

代表 新井育子、高原佐美
 メンバー 6人
 担当職員 寺内真子、塩見洋子

●活動方針・目標

- ・新型コロナウイルス感染予防に努めて、介護予防に資するプログラムを提供する。
- ・高齢者が、できるだけ長く、生き生きとした豊かな在宅での生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいつくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。
- ・地域の中で、利用者が安心して在宅生活を続けることができるよう、介護・医療・福祉等の専門職との顔の見える関係をつくり、連携を図る。

●活動報告

新型コロナウイルス感染拡大により昨年に引き続き神戸市から事業自粛（短縮時間）との指示があり、午前のみのプログラムで介護予防講座、レクリエーション、運動・音楽講座を行った。密を避け、二部屋に分かれるなどプログラムを工夫した。体操を毎回取り入れ、フレイル予防を強化した。歌唱、吹奏楽器が中止される中での音楽療法のプログラムづくりは困難であった。食事やおやつを提供も中止であったが、熱中症や血糖値低下予防のため、お茶と市販の一口サイズの個包装のものを用意した。11月9日からは通常時間に戻って食事提供が可能になり、黙食であったが、皆で一緒に食事ができるようになった。マスク着用で歌唱もできるようになり、プログラムに活気が出た。2月から短縮時間に戻ったが、最終日に食事可能になり、分室での最後の時を楽しむことができた。秋頃から利用者の入院や手術、施設への移行があり、長期欠席や退会が相次いだ。2022年度、会場が本館に変わるが、継続して参加していただけるよう、一人ひとりへの丁寧な対応を心がけたい。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	講師名 サービス責任者名	参加人数	
				利用者	スタッフ
4月6日	第1回わいわいデイルーム	作業療法士による 「身体によいお話」	講師：谷合公江 サービス責任者：新井育子	7	4
4月13日	第2回わいわいデイルーム	音楽教室	講師：川上和恵 サービス責任者：新井育子	7	4
4月20日	第3回わいわいデイルーム	理科実験工作「電気パン」	講師：井上みち子 サービス責任者：高原佐美	8	6
4月27日	第4回わいわいデイルーム	クラフト「手づくりお札工場」	講師：青柳 正 サービス責任者：新井育子	8	4
5月11日	第5回わいわいデイルーム	クラフト 「季節の折り紙（紫陽花）」	講師：徳岡和美 サービス責任者：新井育子	8	5
5月18日	第6回わいわいデイルーム	運動教室	講師：狩山晴奈 サービス責任者：高原佐美	7	4
5月25日	第7回わいわいデイルーム	看護師による「感染症の話」	講師：山本清美 サービス責任者：新井育子	8	3
6月1日	第8回わいわいデイルーム	ケアマネジャーによる 「介護保険の話」	講師：吉田好江 サービス責任者：新井育子	8	4
6月8日	第9回わいわいデイルーム	運動教室	講師：狩山晴奈 サービス責任者：新井育子	7	3
6月15日	第10回わいわいデイルーム	絵手紙教室「野菜と花」	講師：森下元子 サービス責任者：高原佐美	8	4
6月22日	第11回わいわいデイルーム	歯科医師による 「マスク着用時の口腔環境と 鼻呼吸について」	講師：池端伯子 サービス責任者：新井育子	6	3
6月29日	第12回わいわいデイルーム	笑いヨガ	講師：植田あや子 サービス責任者：新井育子	7	4
7月6日	第13回わいわいデイルーム	看護師による 「災害時の健康づくり」	講師：近藤育子 サービス責任者：新井育子	7	4
7月13日	第14回わいわいデイルーム	音楽教室	講師：川上和恵 サービス責任者：高原佐美	8	4
7月20日	第15回わいわいデイルーム	カロムゲーム	講師：徳岡和美 サービス責任者：新井育子	8	4
7月27日	第16回わいわいデイルーム	ヘルスケアトレーナーによる ストレッチ体操	講師：中川郷子 サービス責任者：新井育子	7	3
8月3日	第17回わいわいデイルーム	薬剤師による 「お薬の上手なつき合い方」	講師：有川沙也香 サービス責任者：新井育子	6	3

8月17日	第18回わいわいデイルーム	クラフト・季節の折り紙	講師：徳岡和美 サービス責任者：新井育子	4	5
8月24日	第19回わいわいデイルーム	朗読／クラフト 「灯籠づくり（書道）」	講師：田中和美 サービス責任者：高原佐美	4	4
8月31日	第20回わいわいデイルーム	音楽教室	講師：川上和恵 サービス責任者：新井育子	6	3
9月7日	第21回わいわいデイルーム	看護師による「災害時の手と 口の清潔、健康ケアについて」 （オンライン）	講師：上田佳代 サービス責任者：新井育子	6	3
9月14日	第22回わいわいデイルーム	クラフト「灯籠づくり」	講師：新井育子 サービス責任者：新井育子	6	4
9月21日	第23回わいわいデイルーム	理科実験教室「偏光板万華鏡」	講師：井上みち子 サービス責任者：高原佐美	5	6
9月28日	第24回わいわいデイルーム	音楽教室	講師：川上和恵 サービス責任者：新井育子	5	4
10月5日	第25回わいわいデイルーム	理学療法士による 「家庭で役立つ リハビリテーション」	講師：大津谷厚子 サービス責任者：新井育子	4	4
10月12日	第26回わいわいデイルーム	運動教室	講師：狩山晴奈 サービス責任者：新井育子	6	4
10月19日	第27回わいわいデイルーム	笑いヨガ	講師：植田あや子 サービス責任者：高原佐美	8	5
10月26日	第28回わいわいデイルーム	書道教室	講師：大工原則子 サービス責任者：新井育子	5	4
11月2日	第29回わいわいデイルーム	看護師による 「私や周りの心の健康を 一緒に考えましょう」	講師：角田恵子 サービス責任者：新井育子	5	4
11月9日	第30回わいわいデイルーム	音楽教室	講師：川上和恵 サービス責任者：新井育子	6	5
11月16日	第31回わいわいデイルーム	クラフト 「みかんアート」	講師：青柳 正 サービス責任者：高原佐美	5	5
11月30日	第32回わいわいデイルーム	ヘルスケアトレーナーによる ストレッチ体操	講師：中川郷子 サービス責任者：新井育子	6	7
12月7日	第33回わいわいデイルーム	理学療法士による 「転ばない身体、転ばない生活を 目指しましょう」	講師：大津谷厚子 サービス責任者：新井育子	6	5
12月14日	第34回わいわいデイルーム	音楽教室	講師：川上和恵 サービス責任者：新井育子	6	5
12月21日	第35回わいわいデイルーム	クリスマス会	サービス責任者：高原佐美	6	7
1月11日	第36回わいわいデイルーム	管理栄養士による 「上手に食べて元気で長生き」	講師：村山美佐 サービス責任者：新井育子	5	6
1月18日	第37回わいわいデイルーム	運動教室	講師：狩山晴奈 サービス責任者：高原佐美	5	5
1月25日	第38回わいわいデイルーム	書道教室	講師：大工原則子 サービス責任者：新井育子	3	4
2月1日	第39回わいわいデイルーム	理学療法士による 「身体によい話」	講師：大津谷厚子 サービス責任者：新井育子	5	4
2月8日	第40回わいわいデイルーム	運動教室	講師：狩山晴奈 サービス責任者：新井育子	4	4
2月15日	第41回わいわいデイルーム	ゲーム・思い出カルタ	講師：青柳正 サービス責任者：高原佐美	5	5
2月22日	第42回わいわいデイルーム	クラフト・季節の折り紙 「おひな様」	講師：徳岡和美 サービス責任者：新井育子	3	5
3月1日	第43回わいわいデイルーム	作業療法士による 「家庭で役立つ リハビリテーション」	講師：谷合公江 サービス責任者：新井育子	5	4
3月8日	第44回わいわいデイルーム	運動教室	講師：狩山晴奈 サービス責任者：新井育子	5	4
3月15日	第45回わいわいデイルーム	クラフト・知恵の輪・折り紙 歌唱体操	講師：青柳正 サービス責任者：高原佐美	5	5
3月22日	第46回わいわいデイルーム	ヘルスケアトレーナーによる 体操	講師：中川郷子 サービス責任者：新井育子	3	5
3月29日	第47回わいわいデイルーム	カロムゲーム	講師：徳岡和美 サービス責任者：新井育子	6	6
延参加人数（全47回）				278	207

木曜カフェ

代表 井上みち子・宮田泰子
 メンバー 2人
 担当職員 塩見洋子

●活動方針・目標

会員、ボランティア仲間、地域の人々が気軽に立ち寄り、過ごすスペースにする。

●活動報告

今年は地域福祉部から神戸YWCAのつどい場の仲間として独立した活動となった。

毎月第2・第4木曜日14時～15時30分まで、神戸YWCA分室でカフェとして活動。当日は参加者が思い思いのところに座れるよう会場をセッティング、感染防止の取り組みのもと開催したが、コロナ禍による緊急事態宣言等によって約半分弱の開催回数となった。月1回の音楽セッションも続けられ、参加した人が演奏を愉しんだ。今年度のカフェはレコードとCDの演奏を取り入れ、参加した人がゆったりと音楽の中で過ごせるようにと企画した。神戸YWCAの会員やボランティア、まごの手の居住支援を利用された方など、平均8人～10人（スタッフ含む）の参加者が、思い出などを語りあったり、カフェで出会った人と話し込む様子も見られた。神戸YWCAに関わる方々の居場所となったことは喜びである。しかしコロナの状況もあり、広く地域の方々に呼びかけることができなかつたため新規参加はほとんどなく、地域のカフェとなることの難しさを感じることもあった。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数		合計
			来訪者	スタッフ	
4月8日	第1回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞	2	4	6
6月24日	第2回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞、音楽セッション	4	4	8
7月8日	第3回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞、世界・社会委員会の韓国映画『共犯者』鑑賞会、音楽セッション	7	3	10
10月14日	第4回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞	0	4	4
10月28日	第5回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞、音楽セッション	3	4	7
11月12日	第6回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞、音楽セッション	5	5	10
11月25日	第7回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞、音楽セッションと木曜カフェの様子を録画	5	5	10
12月9日	第8回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞、音楽セッション	5	5	10
12月23日	第9回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞、スタッフミーティング	0	4	4
1月13日	第10回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞	4	3	7
1月27日	第11回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞	2	3	5
2月24日	第12回 木曜カフェ	持ち寄りレコードCDで音楽鑑賞	2	2	4
延参加人数（全12プログラム）			39	46	85

Ⅲ 多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）

「国際理解を推進し、多文化共生社会の実現を目指す事業」を中心となって実施していく。

神戸YWCA学院

学院長 西本玲子

日本語コース

講師 福井武司（主任）、櫻井かおり（副主任）、天川啓子、荒木真也、小川佐由理、小野木愛、

貫上育代、小澤恭子、後藤範子、小林麻紀子、斎藤明子、澤村典子、清水恵子、
田中いずみ、森田純一

担当職員 千葉真理子

●事業方針・目標

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行う。

●事業報告

新型コロナウイルス感染症の状況に著しい改善はみられず、兵庫県下に2回の緊急事態宣言が発令され、その影響を受けた。

「ショファイユ幼きイエズス修道会」への派遣セミプライベートクラスは、緊急事態宣言発令中はオンラインに変更とした。外国にルーツを持つ子どもたちを支援する「はっぴー・さぼーと」「はっぴー・すくーる」は、4月から9月はオンラインに変更した。10月からは、神戸YWCA本館での開催に切り替えたが、2020年からオンライン開催が続いたことにより、子どもたちの足が神戸YWCA本館から遠のいてしまい、参加者が例年に比べて少なくなった。「勉強に役立つ日本語クラス」は、感染拡大防止も考慮し、1対1のクラスとした。子育て中の外国人ママをサポートする「ママの日本語クラス」は対面での開催が難しく、10月からオンライン開催に切り替えた。兵庫県委託訓練事業「定住外国人向け日本語・就業カススキルアップコース」は、定員に達しなかった。2020年からの外国人の入国制限措置も一因であると思われる。

レギュラーコースは、受講生が集まらず開講できなかった。こちらも入国制限措置の影響は否めない。プライベートクラスは、感染防止対策をとりながら神戸YWCA本館で開催した。海外転居や通学困難のためオンラインで開催したクラスもあり、2020年度にオンライン授業の整備をしたことが受講生の獲得につながった。

どのクラス等も、日本語学習が日本で生活するためのサポートとなることを心掛けた。「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行う、という目標に沿った事業であった。

●事業実績

コース名	内容・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
プライベートレッスン	4月1日～3月31日	18	延23	—	11
委託等事業名	プログラム名・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
兵庫県国際交流協会（助成） 「外国人県民・児童生徒の 居場所づくり事業」	勉強に役立つ日本語クラス (8月2日～8月13日)	6	6	36	8
	はっぴー・さぼーと	1	7	11	5
	はっぴー・すくーる	1	3	3	3
	ママの日本語クラス	1	3	7	1
兵庫県委託訓練事業（委託） 離職者等再就職訓練事業 定住外国人向け職業訓練コース	定住外国人向け日本語・ 就業カススキルアップコース (9月17日～12月13日)	1	12	1	12
兵庫県国際交流協会（助成） 「民間国際交流事業」	外国につながるのある子ども向け「ウェブ教材」 の普及事業（2021年4月1日～2022年3月31日）	子ども向け日本語ウェブ教材の 作成とその普及事業			

日本語教師養成コース

講師 福井武司（主任）、櫻井かおり（副主任）、小川佐由理、斎藤明子、小林麻紀子、水野マリ子
担当職員 千葉真理子

●事業方針・目標

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師を養成する。

●事業報告

新型コロナウイルス感染症の拡大と、2回発令された緊急事態宣言により、講座内容変更等の影響があった。

「日本語ボランティア養成講座（入門編）春」は、オンライン開催に変更をして5月に開講した。計6人が受講した。8月と3月に甲南女子大学、8月に帝塚山学院大学と神戸女学院大学の、計3大学の日本語教育実習を受け入れた。アドバイザー派遣事業として、明石文化国際創生財団、三木市国際交流協会の日本語ボランティア向け講座への講師派遣を行った。神戸市立兵庫中学校北分校、尼崎市立成良中学校琴城分校へ「日本語指導研修」の講師派遣を行った。

また、やさしい日本語講座として、神戸市中央区社会福祉協議会主催のやさしい日本語地域勉強会、神戸大学大学院保健学研究科、加東市まちづくり政策部、三木市市民協働課に、講師派遣を行った。

●事業実績

コース名	内容・期間 (主催)	クラス数	在籍者数	回数	講師数
日本語教育実習受け入れ	甲南女子大学 8月16日～20日	1	7	1	—
	甲南女子大学 3月7日～11日	1	15	1	—
	神戸女学院大学 8月2日～6日	1	5	1	—
	帝塚山学院大学 8月2日～6日	1	5	1	—
日本語ボランティア養成講座	入門編 5月29日～6月26日	1	6	1	1
講師派遣・ アドバイザー派遣	日本語支援ボランティアブラッシュアップ講座 8月7日、10月23日 (明石文化国際創生財団)	1	—	1	1
	「外国人に伝える！伝わる！やさしい日本語講座」 2月5日 (明石文化国際創生財団)	1	—	1	1
	日本語講座講師ブラッシュアップ研修 10月4日、11日、18日 (明石文化国際創生財団)	1	—	1	1
	日本語支援ボランティアブラッシュアップ講座 1月29日 (明石文化国際創生財団)	1	—	1	1
	「雑談から実りある対話レッスンへ『できる？できた！くらしの日本語 (兵庫県国際交流協会出版)』を使って」 2月12日 (明石文化国際創生財団)	1	—	1	1
	「外国につながる子どもの見ている日本語の世界」 1月22日 (明石文化国際創生財団)	1	—	1	1
	日本語指導研修 7月7日、21日、12月1日 (神戸市立兵庫中学校北分校)	1	—	1	1
	日本語指導研修 7月5日、11月25日、26日、1月27日、1月28日 (尼崎市立成良中学校琴城分校)	1	—	1	1
	日本語ボランティア養成講座 7月19日、1月14日 (三木市国際交流協会)	1	—	1	1
	日本語ボランティア養成講座 1月14日 (三木市国際交流協会)	1	—	1	1
	やさしい日本語講座 6月29日、7月7日 (三木市市民協働課)	1	—	1	1
	やさしい日本語講座 7月30日、8月20日 (加東市まちづくり政策部)	1	—	1	1
	若菜地域「やさしい日本語」勉強会 10月18日 (神戸市中央区社会協議会)	1	—	1	1
	「やさしい日本語」勉強会 雲中編 2月14日 (神戸市中央区社会協議会)	1	—	1	1
	やさしい日本語研修 9月16日 (神戸大学大学院保健学研究科)	1	—	1	1

外国語コース

講師 バラティ・スレシュチャンドラ、ダン・クロウン、ポール・ボテロ、リッキー・バーネット、ドック・ケイン、プリティ・ロヘラ、マット・バルデュフ、エスター・タン、川越栄子、土井川佳世子、鄭京淑、日方京子、文雅炫

職員 秋月啓子

●事業方針・目標

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応えたクラス・プログラム運営に努める。

●事業報告

レギュラーコースは、4月の開講後4月25日～6月21日まで緊急事態宣言のため休講、春学期は8～9回の開講となり休講分は返金した。英語1クラスが春学期をもって終了、もう1クラスも曜日を変えて継続した。秋学期は9月の緊急事態宣言のため休講、10月より9回に減らして開講した。冬学期は12回で開講した。プライベートコースは、時折休講しながらも継続している。

カスタムコース「All Together」は、4月開講後GW前に休講、6月に2回振替オンラインレッスンを実施した。春学期は夏季休館日を除き9月11日まで延長、13回を実施できたが、秋学期は人数に満たず開講できなくなり、継続希望者はプライベート(オンライン)に切り替え開講した。冬学期はオンラインクラスと

して開講した。「シニア英会話クラス」は、春学期は9回で終了、返金した。秋学期も9回に減らして開講した。冬学期は通常通り12回開講した。

オフキャンパスは「コープカルチャー宝塚・英会話クラス」が5・6月は緊急事態宣言のため休講、4月と7月以降は月4回実施した。「兵庫県英会話Dクラス（年20回）」は7月15日から開講、適宜オンラインレッスンに切り替え実施した。

公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校の英語講義は、1年生クラスに新講師を採用、2年生は昨年と同じ講師が担当した。独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校の英語講義（後期）は、10月18日より昨年同様の講師2人が担当した。

●事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース	春学期8～9回（英語3・韓国語2）秋学期9回（英語2・韓国語2）冬学期12回（英語2・韓国語2）	春5 秋・冬4	13	延65	4
プライベートコース	英語	2	5	延36	2
カスタムコース	英語保持クラス「All Together」	1	2	38	1
	シニア英会話	1	4	30	1
オフキャンパス	兵庫県英会話Dクラス	1	10	20	1
	コープカルチャー宝塚（ネイティブ英会話A・B）	2	16	40	1
	公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校	4	140	45	2
	独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校	2	70	26	2

文化教養コース

講師：岩崎ひかる

担当職員：秋月啓子

●事業方針・目標

芸術・カルチャーに触れ、人生の糧になる喜びを見いだすような講座を企画する。

●事業報告

ピアノ教室は1対1のプライベートレッスンなので、5階チャペルのグランドピアノでゆっくりレッスンを受けることができる。コロナ禍でも2～3人の受講生が第2・第4月曜日の夕方にレッスンを続けることができた。

発声・歌唱教室は、今年度もグループレッスンはできなかったが、1対1のプライベートレッスンをピアノ教室と同じ曜日に開催し、受講生4人が月1～2回のペースで受講した。

●事業実績

コース名（神戸YWCA本館）	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師
ピアノ教室	プライベートレッスン		2	延41	岩崎ひかる
発声＆歌唱教室	プライベートレッスン		4	延60	岩崎ひかる

多文化共生ボランティア部

内容未定

IV 活動共通事業

運営委員会

●●●●●●●●●●●●●●●●

会長	木村文字
副会長	斎藤明子、宮田泰子
会計	金本美子
書記	岩切幸子、福田百
担当職員	西本玲子

●活動方針・目標

- ・何よりもまず会員がのびのびと楽しく活動できるように支援する。その結果として、会員活動が社会変革を目指す市民運動としての役割を担っていくことを目指す。
- ・会員新組織をスムーズに運用し、会員と共に活動をつくっていく。

●活動報告

「共に社会を変える一歩を踏み出す」をもとに、昨年度会員集会での新組織の承認を受けて、新組織が始動した1年であった。運営委員のメンバーは6人、月1回の委員会を持った。コロナ禍にあり対面での活動が制限され、具体的な活動が滞る中、オンラインの活用など新しい活動形態を探ることができた。また、メールでの情報交換の場として「つながるプロジェクト」を継続して行っている。

新組織「平和と人権センター」では、変革への道筋を作るべく「世界・平和」「環境・暮らし」「ユース・エンパワメント」各委員会において新しい試みに挑戦した。11月に会員の理解を得、ともに行動することを目的に「進捗報告会」を実施した。それと共に、グループ活動におけるルールづくりなどでの課題も認識された。

3月の第102回定期会員集会においては、ミッションの明確化と共有、その上でそのミッションに基づいた会員組織の運営のルールを作っていくことについて承認を得た。

今年度も四市YWCA（京都、大阪、名古屋、神戸）との連携を進め、各市YWCAプログラムに合流する形でつながりと広がりを継続している。神戸YWCAは「韓国市民社会を知り、日本市民社会を考えるプロジェクト」を4市YWCAオープン企画として実施した。

喫緊の課題である、新しい仲間募集のためのボランティア説明会は実施できなかったが、他のプログラムを実施する中で募集していく形にならざるを得ない状況であった。

●活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA本館と オンライン)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数 (全回数)	平均 参加 人数
3月26日	第1回運営委員会	新旧運営委員の引き継ぎ事項確認、役員選出、委員会開催方法および日程決定、プログラム担当決定、委員会メンバー募集チラシ検討	7	93 (全14回)	6
4月10日	第2回委員会	中央委員会議案への提案、2020年度運営委員会事業報告の内容確認、各委員会募集チラシ検討、今後の委員会の進め方、運営委員会の連絡方法、データ共有方法など確認	5		
5月8日	第3回委員会	各委員会メンバー確認と今後の進め方、研修の進め方、会員活動の現場について課題の共有	7		
6月12日	第4回委員会	ひょうごん「兵庫県知事選公開討論会」への協力について、グループ活動について 研修：「Googleドライブ」の使い方	6		
7月10日	第5回委員会	日本YWCAバーチャル訪問、新組織浸透の状況確認、グループ活動 研修：会則を読む	7		
8月14日	第6回委員会	組織内でのグループ活動の今後、グループ活動の現状把握について	7		
9月11日	第7回委員会	日本YWCA「ユースの支援者支援講座」への参加者について、理事会の分室対応（4月以降の契約、補助金）、組織検討の件	7		
10月9日	第8回委員会	組織検討の件（進捗報告会）、定期会員集会の内容	7		
11月6日	第9回委員会	2022年度神戸YWCAビジョン・活動目標、進捗報告会 研修：神戸YWCA財政現況	7		
12月9日	第10回委員会	進捗報告会の振り返り、日本YWCA運営委員会ワークショップでの発表内容協議、運営委員会の2021年度活動報告および2022年度活動計画、定期会員集会議案、定期会員集会開催方法について	6		
1月8日	第11回委員会	2021年度定期会員集会（当日プログラム、議案について）、2022年度会員集会までのロードマップ協議と策定、2021年度運営委員会活動報告と2022年度活動計画	7		
2月5日	第12回委員会	第101回定期会員集会議事録、運営委員会の2021年度活動報告・2022年度活動計画承認、2021年度活動報告・2022年度活動計画承認、定期会員集会（発送資料の確認、タイムスケジュール、役割分担、報告内容の協議・確認	7		
2月26日	臨時運営委員会	定期会員集会での報告内容の確認・調整	6		
3月19日	新旧運営委員会	2022年度の活動計画確認、運営委員会役員および各委員会の担当決定、年間スケジュール確認、日本YWCAワークショップの宿題作成	7		

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	参加人数
11月27日	進捗報告会 (神戸YWCA本館 およびオンライン)	会員新組織の振り返り、各プロジェクト報告、質疑応答など	15
3月12日	第102回定期会員集会 (神戸YWCA本館 およびオンライン)	理事会報告、前回議事録承認、2021年度事業報告・会計報告、 2022年度事業計画・予算、2022年度運営委員・指名委員選出、 2022年度標語聖句決定	出席数 79 内委任状 52
1月10日 3月21日	日本YWCA主催 運営委員のための ワークショップ (オンライン)	第1回「自分たちの運営委員会を振り返ってみよう」 (函館、札幌、横浜、大阪、神戸) 第2回「キリスト教基盤である組織理解の促進、運営委員同士の 情報共有、会議の持ち方のバージョンアップ、 新しいメンバーを迎えるためになすべきことなど」 (函館、札幌、横浜、大阪、東京、名古屋、京都、福岡、神戸)	神戸YWCA 参加者は 両回共 7人
延参加人数(全3プログラム)			108

定期会員集会準備会

代表 川関敏恵
メンバー 3人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

会員活動の意思決定機関である定期会員集会が滞りなくかつ適正に開催されるよう、準備・運用を行う。

●活動実績

開催日	委員会 (付記以外、神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
12月22日	第1回委員会	代表決定、第101回定期会員集会の振り返り、 第102回集会の開催方法について確認、 集会当日担当者および依頼者の決定	5	36 (全8回)	4
1月17日	第2回委員会	集会当日担当者の確認、出欠はがきの内容確認、 スケジュール確認、	6		
	作業	議案資料の内容確認と校正作業	3		
1月27日	第3回委員会	当日の担当者について	5		
1月31日	作業	出欠はがき発送作業、議案資料校正	3		
2月18日	打ち合わせ	当日タイムスケジュール、オンライン打ち合わせ	3		
2月25日	作業	議案資料発送作業	3		
3月5日	打ち合わせ	当日担当者との本番直前打ち合わせ	5		
3月11日	準備	会場設営など	3		
3月12日	第102回定期会員集会	運営委員会欄に記載			

指名委員会

代表 小野木愛
メンバー 4人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

定期会員集会に向けて、会員の中から運営委員および指名委員を指名する。

●活動実績

開催日	委員会(神戸YWCA本館およびオンライン)	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
11月29日	第1回委員会	6	16 (全3回)	5
12月20日	第2回委員会	4		
1月14日	第3回委員会	6		

会員委員会

代表 鶴崎祥子
 メンバー 4人
 担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

神戸YWCA 100周年イヤーに実施した、長年活動をされてきた会員の方から思いを語って頂く集いを、継続開催する。

●活動報告

コロナ禍にあった2021年度は、残念ながら、会としての行動は計画案通りできなかった。委員会自体は、12月までに1回実施という結果であった。ただし、会員への「お誕生日カード発送」は継続できたことは感謝の一言である。

シニア会員が多い神戸YWCAにとって、会員が語る場として委員会が継続できればと願っている。また100周年時に実施した「思いをつなぐ会」の記録を、将来的には冊子という形にしたいと思う。

●活動実績

開催日	ミーティングなど	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
12月22日	第1回委員会 (神戸YWCA本館)	2021年度の活動振り返り、2022年度の活動計画作成	4	4 (全1回)	4
毎月	誕生日カード発送	会員・会友・賛助員の誕生日に合わせてカードを発送する。(全118通)	1	12 (全12回)	1

キリスト教基盤委員会

代表 : 宮田泰子
 メンバー : 7人
 担当職員 : 西本玲子

●活動方針・目標

神戸YWCAにおけるキリスト教基盤を理解するための活動を推進する。

●活動報告

コロナ感染症の影響で、昨年に引き続き今年の委員会開催も年度下半期からとなった。標語聖句が会員にとって身近になること、それぞれの活動に生かされ強められることを願って、今年も会館内各階や分室に標語聖句の色紙を掲示した。

神戸YMCA/YWCAイースター早天礼拝(4月)は今年も中止になった。

11月の神戸YMCA/YWCA合同祈祷週礼拝は神戸YWCA会館で開催し、若林一義牧師(日本キリスト教団芦屋西教会)よりメッセージをいただいた。

また、クリスマスの喜びと感謝を伝えるため、新たな取り組みとして、クリスマスメッセージと神戸YWCAで活動するグループや学院・保育園などの活動の様子動画を作成し、ビデオ配信することになった。12月20日～25日まで会員とメンバー対象に配信した。第1部の礼拝では淀川キリスト教病院の安部勉チャプレンにメッセージをいただき、第2部ではそれぞれの活動を垣間見る楽しいときとなった。

他団体と共催の世界祈祷日は、今年は神戸YWCAが担当。日本基督教団神戸聖愛教会を会場として開催、小栗献牧師はじめ同教会の協力により、YouTubeでのライブ配信となった。

次年度は神戸YWCAのミッションである「キリスト教基盤とはなにか」を神戸YWCAのみんなで共有して作り出していけるような取り組みにチャレンジしていきたいと考えている。

●活動実績

開催日	委員会 (付記以外、 神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
10月14日	第1回委員会	代表選出、2021年度活動計画の確認 今年度下半期活動の検討、スケジュール確認	9	60 (全11回)	5
11月1日	第1回クリスマス企画委員会	2021年度神戸YWCAクリスマスの持ち方について協議	4		
11月8日	第2回委員会	神戸YWCAクリスマスプログラムについて (カード発送、会館飾付、クリスマスプログラム)	7		
11月19日	作業日	クリスマス映像の編集作業	2		
11月26日	作業日	クリスマスカード発送、会館飾付、クリスマス映像撮影	5		

12月6日	作業日	クリスマス映像ピアノ演奏録音、編集作業	3		
12月16日	第3回委員会	クリスマス映像視聴、世界祈祷日メンバー確認、2021年活動報告、2022年活動計画について協議	6		
1月19日	第4回委員会	クリスマスプログラムの振り返り、世界祈祷日の役割分担と当日スケジュール等、2021年度活動報告・2022年度活動計画の承認、標語聖句検討	7		
12月9日	第1回世界祈祷日企画委員会	世界祈祷日の進め方を協議	4		
1月14日	第2回世界祈祷日企画委員会(神戸聖愛教会)	世界祈祷日の全体式次第および役割分担確認、スケジュールの確認	4		
2月24日	世界祈祷日リハーサル(神戸聖愛教会)	世界祈祷日シナリオの読み合わせ、立ち位置確認	9		

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
11月9日	神戸YMCA/神戸YWCA 合同祈祷週合同礼拝(神戸YWCA本館)	「壊した関係の中で許されて生きる」	若林一義 (日本基督教団芦屋西教会 牧師)	34
12月4日	神戸YWCAクリスマス(YouTube配信)	クリスマスメッセージと映像で紹介する神戸YWCAの活動	安部勉 (淀川キリスト教病院チャプレン)	38
3月4日	世界祈祷日礼拝(神戸聖愛教会よりYouTubeライブ配信)	共通のテーマに沿って世界中の女性が共に祈り合う礼拝	小栗献 (日本基督教団神戸聖愛教会牧師)	97 教会
延参加人数/団体(全3プログラム)				169

100周年記念事業実行委員会 記念誌プロジェクト

代表 鶴崎祥子
 メンバー 3人
 担当職員 秋月啓子

●活動方針・目標

神戸YWCAは2020年3月に創立100周年を迎えた。創立100周年記念事業全体の企画・運営を行う。

●活動報告

記念誌プロジェクトは、今年度も引き続き編集作業を続け、近々完成予定である。

●活動実績

開催日	ミーティング(神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数(全回数)
4月14日、10月16日、10月23日	ミーティング	今後の進め方など	3	62 (全24回)
4月20日、5月11日、6月1日、15日、7月13日、10月12日、11月9日、16日、30日、12月8日、14日、21日、1月19日、2月2日、9日、16日、3月1日、15日、16日、18日、30日	編集作業	50年誌「あゆみ」、定期総会資料等で年表を検証、100周年記念誌原稿作成	2～3	

V 広報・ファンドレイジング

機関紙編集委員会

代表 岩切幸子
 メンバー 2人
 担当職員 秋月啓子

●活動方針・目標

会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に、神戸YWCAの活動を伝えるために機関紙を発行する。

●活動報告

年6回(偶数月)各1,000部を発行、それに伴う編集企画会議、編集作業(原稿依頼~校正)、印刷、発送作業を発行毎に行った。

COVID-19の緊急事態宣言に伴い、YWCA活動、とりわけ会員活動はほとんど活動できない中であって、紙面を通して、会員が積極的につながりや関係性が深められるよう、トップページやグループ活動紹介、「まごの手ヘルパー徒然記」、「たてごと」を連載した。また、新組織の活動を知っていただくため、平和と人権センターの各委員会活動の取り組みや、総合サポートセンターの「生活支援わいわい」、「わいわい食事会」などを継続して紹介した。

2021年度にスタートした新組織にあたり、会員活動主体の機関紙編集部から新たに組織包括オフィスの機関紙編集委員会となったが、従来の活動にとどまった。今後、もう少し公益財団法人としての機関紙づくりができるようにアクションを起こしたい。オンライン活用の会議・編集作業も行なえるようになったので、今後も併用して活用していきたい。

●活動実績

開催日	委員会(付記以外神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数(全回数)	平均参加人数
4月19日	第1回部会	4・5月号振り返り、6・7月号企画	4	20 (全6回)	3
6月21日	第2回部会(ハイブリッド)	6・7月号振り返り、8・9月号企画	3		
8月16日	第3回部会(ハイブリッド)	8・9月号振り返り、10・11月号企画	3		
10月11日	第4回部会(ハイブリッド)	10・11月号振り返り、12・1月号企画	3		
12月13日	第5回部会	12・1月号振り返り、2・3月号企画	3		
2月7日	第6回部会(ハイブリッド)	2・3月号振り返り、4・5月号企画	4		

開催日	プログラム・イベント名(神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	参加人数
4月5日	4・5月号作業	最終校正	2
4月12日	4・5月号作業	発送	4
5月17日	6・7月号作業	生原稿チェック	3
5月24日	6・7月号作業	レイアウトチェック	3
5月31日	6・7月号作業	最終校正	3
6月7日	6・7月号作業	発送	5
7月12日	8・9月号作業	生原稿チェック	3
7月19日	8・9月号作業	レイアウトチェック	3
7月26日	8・9月号作業	最終校正	3
8月2日	8・9月号作業	発送	4
9月13日	10・11月号作業	生原稿チェック	3
9月21日	10・11月号作業	レイアウトチェック	3
9月27日	10・11月号作業	最終校正	3
10月4日	10・11月号作業	発送	5
11月15日	12・1月号作業	生原稿チェック	4
11月22日	12・1月号作業	レイアウトチェック	4
11月29日	12・1月号作業	最終校正	4
12月6日	12・1月号作業	発送	6
1月17日	2・3月号作業	生原稿チェック	4
1月24日	2・3月号作業	レイアウトチェック	4
1月31日	2・3月号作業	最終校正	4

2月7日	2・3月号作業	発送	5
3月22日	4・5月号作業	生原稿チェック	4
3月28日	4・5月号作業	レイアウトチェック	4
延参加人数（全24プログラム）			90

ファンドレイジング実行委員会

代表 木村文子
担当職員 秋月啓子

●活動方針・目標

- ・会員活動の、持続可能なファンドレイジングの形を検討および実施する。
- ・マネージメントの視野をもったファンド・広報を考える。

●活動報告

コロナ禍の中で、ミーティングはオンライン会議の形をとりつつ、6回実施した。
「YWCAオリジナルチャリティー・ドリップコーヒー」は、10月に賞味期限が迫ったため半額セールをおこない完売することができた。クリスマスに向けて、4月に近隣でオープンしたベーカリー「グリュック」に春井さんの蜂蜜で作っていただいたはちみつラスクとコーヒーのギフトセットを販売した。
12月には「もっと知りたい！街なか養蜂」と題して、春井勝さんに『神戸YWCA機関紙』10・11月号1面に掲載された記事「街なか養蜂ってなに？」をもっと詳しく話していただく会をハイブリッドで開催した。ちくちく子ども手づくりの会は2回開催、通常のYWCAワッペンだけでなくバッグを作るなど、子どもたちの自由な裁縫を楽しむだけでなく、技術の向上にもつながった。
はちみつ、コストコ商品等は継続的に販売し、収入を得た。
「箏・フルートコンサート」、オンライン講座「容子の台所～発酵食で免疫力をアップしよ～！」は実施できなかった。
メンバーが少なくなり難しさはあるが、できる形でのファンドレイジングを模索したい。

●活動実績

開催日	ミーティング	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
5月21日	第1回 委員会 (オンライン)	チャリティードリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売、 コストコメンバーシップ	2	12 (全6回)	2
6月25日	第2回 委員会 (オンライン)	チャリティードリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売、 コストコメンバーシップ	2		
9月3日	第3回 委員会 (オンライン)	チャリティードリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売、 コストコ商品	2		
10月5日	第4回 委員会 (オンライン)	チャリティードリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売、 コストコ商品	2		
11月8日	第5回 委員会 (オンライン)	チャリティードリップコーヒーの発注、 春井さんのはちみつ・アドベントカレンダー・ マーマレード販売、クリスマス商品（グリュックのラスク）、 コストコ商品、 講演会「もっと知りたい街なか養蜂」企画	2		
1月17日	第6回 委員会 (オンライン)	クリスマスギフトセット販売、 講演会「もっと知りたい街なか養蜂」ふりかえり、 2021年度活動報告と2022年度の活動計画・予算	2		

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
7月17日	ちくちくの会	ワッペンづくり、自由な裁縫		3
11月11日	エキストラ珈琲株式会社訪問	チャリティードリップコーヒー		3
11月22日	講演会「もっと知りたい街なか養蜂」打ち合わせ		春井勝	3
12月18日	講演会「もっと知りたい街なか養蜂」	街なか養蜂について話を聞く	春井勝	19
1月15日	ちくちくの会（神戸YWCA分室）	ワッペンづくり、自由な裁縫		5
延参加人数（全5プログラム）				33

VI 法人

理事会

理事長 平山芳子
理事 大工原則子、野村春美、三浦啓子、宮田泰子、モーアアン
常務理事 西本玲子
業務執行理事 寺内真子

●方針・目標

神戸YWCAの中長期ビジョンを明確にし、安定的な財政構造改革を実施する。

●事業報告

2021年度も引き続き、新型コロナウイルス禍において事業実施に苦闘する一年となった。海外からの人流が止まることにより日本語教育事業は縮小、また外国語教育事業は休講せざるを得ない期間もあった。介護事業所まごの手、神戸YWCA保育園は、利用者や職員の命を守ること、その上で事業を止めないことを目標に、日々、刻々と変化するマニュアルを確認しつつ、連絡共有を図りながら事業を実施した。幸いにも、どの事業においても大きな事故や混乱は起きず、工夫を重ねながら事業継続できたことを感謝している。しかし安定的な財政構造改革に着手することはできず、財政はさらに逼迫している。

阪神淡路大震災以後2001年から地域福祉活動の拠点であった「神戸YWCA分室」だが、2022年3月末をもって貸主にお返しすることとした。分室活動で出会った全ての利用者、活動メンバー、そして何よりも長年に渡り家屋を提供して下さった貸主様に心から感謝を申し上げる。

今後は、神戸YWCAのすべての会員活動と事業が本館に集合することとなる。全活動が更に連携し、強みを活かし弱みを補完する、しなやかで安定した事業の形を模索検討していく。

●実績

開催日	理事会（神戸YWCA本館）	出席理事数	出席監事数
5月29日	2020年度第7回理事会	8	2
6月19日	2021年度第1回理事会	8	2
7月17日	2021年度第2回理事会	8	2
8月21日	2021年度第3回理事会	8	2
9月18日	2021年度第4回理事会	8	2
10月30日	2021年度第5回理事会	8	2
12月18日	2021年度第6回理事会	7	2
2月12日	2021年度第7回理事会	8	2
3月22日	2021年度第8回理事会	7	2

監事

監事 川邊比呂子、川関敏恵

評議員会

評議員 川島恵美、島田恒、下村俊子、関本雅子、鶴崎祥子、寺澤京子、馬場一郎、藤野達也、松浦裕子

●実績

開催日	評議員会（神戸YWCA本館）	同意書提出評議員数	未提出評議員数
6月19日	第11回定時評議員会（書面決議）	9	0

会 勢 報 告

2022/3/31 現在

会員・会友数

		2019年	2020年	2021年	増減
成人会員		111	109	113	4
青年会員		5	2	2	0
年少会員		0	0	0	0
合 計		116	111	115	4
賛助員	個人	17	16	16	0
	法人	2	1	1	0
会 友		9	9	9	0

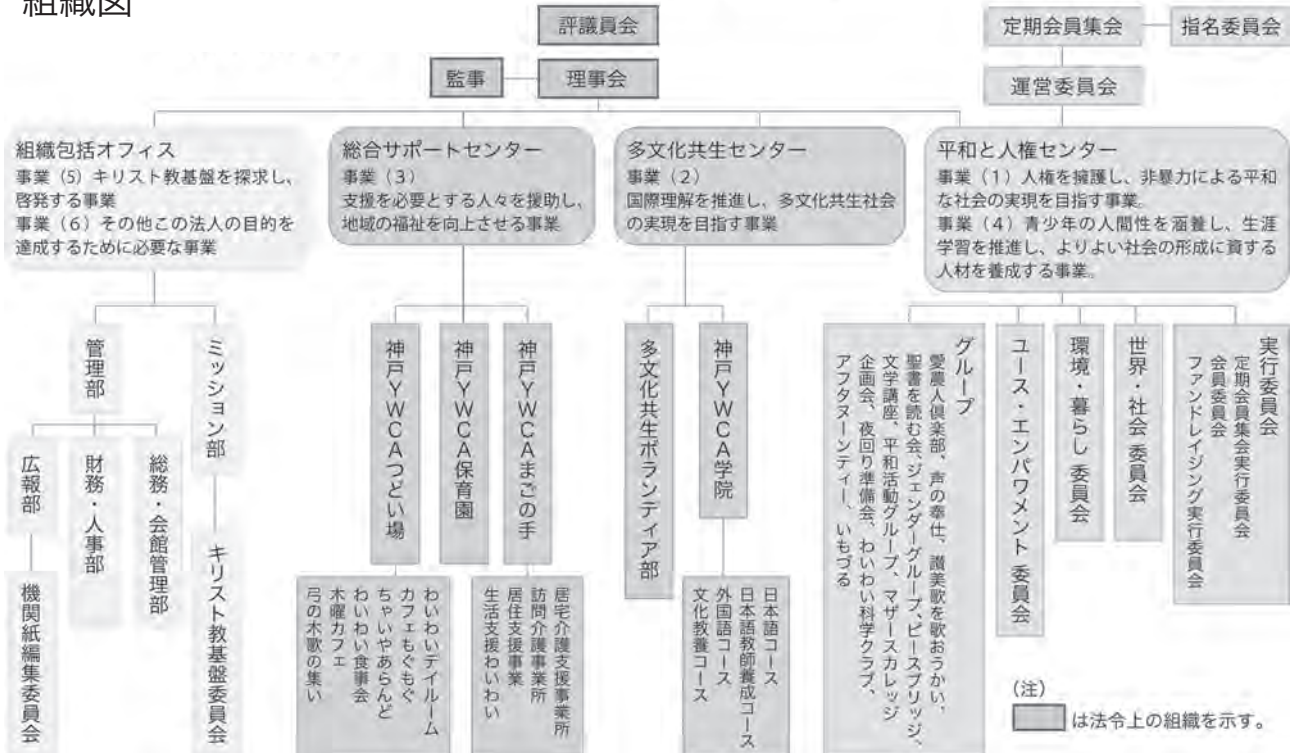
会員・会友年齢別

年齢別	会員	会友
12歳未満	0	0
12～17歳	0	0
18～24歳	1	0
25～29歳	1	1
30～39歳	1	0
40～49歳	9	0
50～59歳	20	1
60～69歳	27	1
70～79歳	31	4
80歳以上	23	2
不 明	2	0
合 計	115	9

職員数

	女	男	合 計	備考
幹事職	8	0	8	
まごの手職員	4	0	4	
保育園職員	1	0	2	
パート職員 (総務)	1	0	1	
パート職員 (分室)	0	0	0	
パート職員 (まごの手)	30	3	33	
パート職員 (保育園・保育)	6	0	6	
パート職員 (保育園・調理)	3	0	3	
学院講師	19	5	24	
合 計	73	8	81	

2021 年度 公益財団法人神戸 YWCA 組織図



■評議員

川島 恵美
島田 恒
下村 俊子
関本 雅子
鶴崎 祥子
寺澤 京子
馬場 一郎
藤野 達也
松浦 裕子

■理事

理事長 平山 芳子
理事 大工原 則子
理事 野村 春美
理事 三浦 啓子
理事 宮田 泰子
理事 モーア・アン
常務理事 西本 玲子
業務執行理事 寺内 真子

■監事

監事 川関 敏恵
監事 川邊 比呂子

■運営委員

会長 木村 文子
副会長 斎藤 明子、宮田 泰子
書記 岩切 幸子、福田 百
会計 金本 美子

■職員 (幹事職)

総幹事 西本 玲子
幹事 秋月 啓子
幹事 梅川 玲子
幹事 寺内 真子
幹事 伝明地 敦子
幹事 塩見 洋子
幹事補 吉田 好江
幹事補 千葉 真理子

* 2022年3月31日現在



さようなら & ありがとう、神戸 YWCA 分室



神戸YWCA まごの手



「ゲストスピーカーと読み解く～映画『共犯者たち』・韓国市民社会」
(世界社会委員会)



わいわい食事会



定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース（日本語コース）



神戸 YWCA ホームページ : www.kobe.ywca.or.jp/top



神戸 YWCA フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywca



神戸 YWCA 学院フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywcacollege



ツイッター @KobeYWCA



インスタグラム : [kobeywca / kobeywcacollege](https://www.instagram.com/kobeywca/)

公益財団法人 **神戸 YWCA**

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10

tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692

e-mail: office@kobe.ywca.or.jp

www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。